

地理教科書

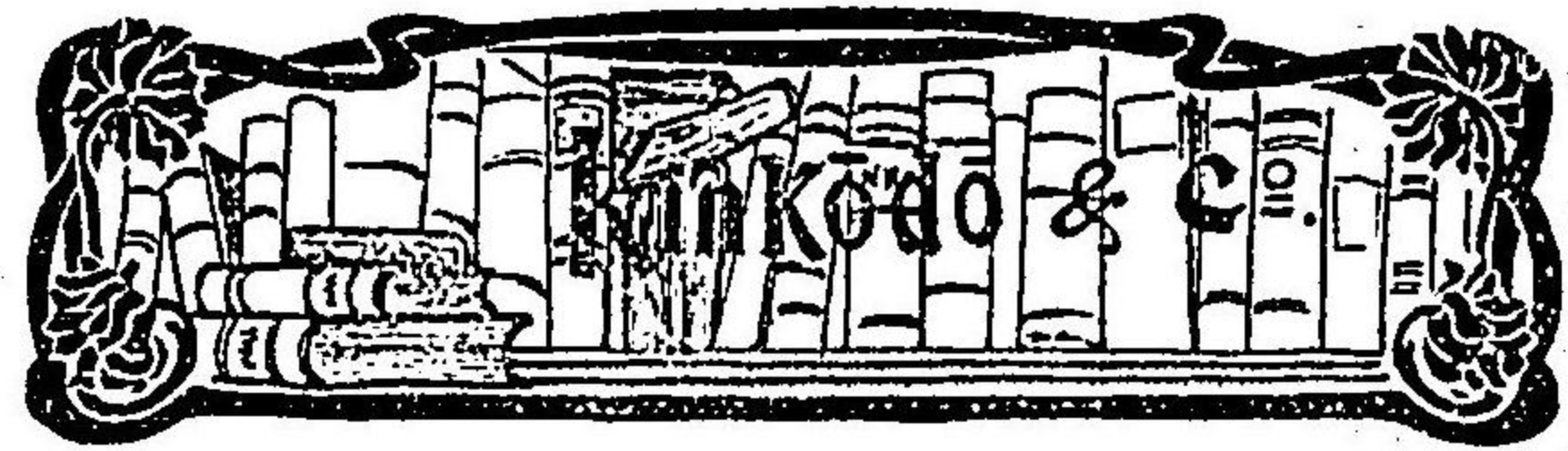
三卷

東京帝國大學農科大學助教授
兼
東京帝國大學工科大學助教授

理學士

水鐵五郎

著



東京



金港堂書籍株式會社

此是歐洲欲盡頭 七山樹色入吟眸
徘徊試訪千年跡 城壁依然羅馬州

地理教科書卷三

目錄

第三編 外國地理

第二章 大洋洲

第一節 總論

第二節 アウストララシア

- (一)濠太利亞
- (二)タスマニア
- (三)ニュー・ジラ
- ンド

第三節 メラネシア

- (一)ニュー・ギニー
- (二)ビスマルク群島
- (三)サロ
- モン諸島
- (四)ニュー・ヘブリッツ
- (五)ニュー・カレ
- ドニア
- (六)フージー諸島

第四節 ミクロネシア

一五

- (一) マリアナ諸島
- (二) カロリン諸島
- (三) マーシャル諸島
- (四) ギルベルト諸島及びエリス諸島

第五節 ポリネシア

一七

- (一) サンドウィチ諸島
- (二) トンガ諸島
- (三) サモア諸島
- (四) ソサエチー諸島
- (五) ハウモツ諸島

第三章 歐羅巴洲

二二

第一節 總論

二二

第二節 露西亞

二八

第三節 瑞典・諾威

三七

第四節 丁抹

四一

第五節 獨逸

四三

第六節 奧地利・匈牙利

四九

第七節 瑞西

五四

第八節 佛蘭西

五八

第九節 和蘭

六四

第十節 白耳義

六七

第十一節 英吉利

七〇

第十二節 西班牙

七七

第十三節 葡萄牙

八〇

第十四節 伊太利

八二

第十五節 バルカーン半島

八八

- (一) モンテネーグロ
- (二) セルギア
- (三) ルーマニア
- (四) 土耳其
- (五) 希臘

附 録

重要地名其他原字比較表

地理教科書卷三

理學士・脇水鐵五郎著

第三編 外國地理

第二章 大洋洲

第二節 總論

大洋洲は太平洋の中に散在して、亞細亞にも、亞米利加にも屬せざる許多の島嶼の總稱なり、面積凡そ五十六萬方里、人口六百萬ありて、六大洲中最小の地なり。之を大別して、アウストララシア、メラネシア、ミクロネシア、ポリネシアの四部とす。

第二節 アウストララシア

アウストララシアは、濠太利亞、タスマニア及びニュー・ジール

ントを包括す、是南の亞細亞と云ふ義なり。

(一) 濠太利亞

其の一 總論

位置 濠太利亞即ち濠洲は、東半球の南東部、赤道以南に位置して、熱帶と溫帶とに跨がり、南西北の三方は、印度洋に面し、東は太平洋に臨み、面積凡そ五十六萬方里あり。本島の發見は、十六世紀の始め頃にして、内地は、尙地理不明の處多し。

地勢 沿岸は、著しき彎曲に乏しく、北にカーペンタリア灣、南に大濠太利亞灣あれども、其の沿岸は、概ね沙洲斷崖にして、良港なく、西岸も殆ど同様の狀況を呈せり。之に反して東岸には、數多の小灣ありて良港に富む、されど北東沿岸には、幾多の珊瑚礁相錯綜して、航通甚だ困難なり。

域内大部は高原にして、丘陵起伏し、沙漠處々に在り。山脈の

濠太利亞
アルプス

マレー
河

主なるものは、濠太利亞アルプス、ブリュー山脈等にして、南東海岸に沿ひて連なり、其の西方はマレー河の流域に屬し、一大低地をなせり。マレー河は、源を濠太利亞アルプスに發し、ダーリング河を入れ、エンカウンター灣に入る。此の他の河川は、雨季の外は、全く乾涸して、河底を露出せり。湖水は皆鹹湖にして、水淺く、其の大なるをゲールドネル湖及びエーア湖とす。

氣候 氣候は、溫熱二帶に跨がるを以て、北部は熱帶性に、南部は溫帶性に屬す。又降雨は、一般に少く、比較的多きは、北海岸と東海岸として、内地は降雨稀に、空氣乾燥を極む。是内地に數多の沙漠ある所以なり。

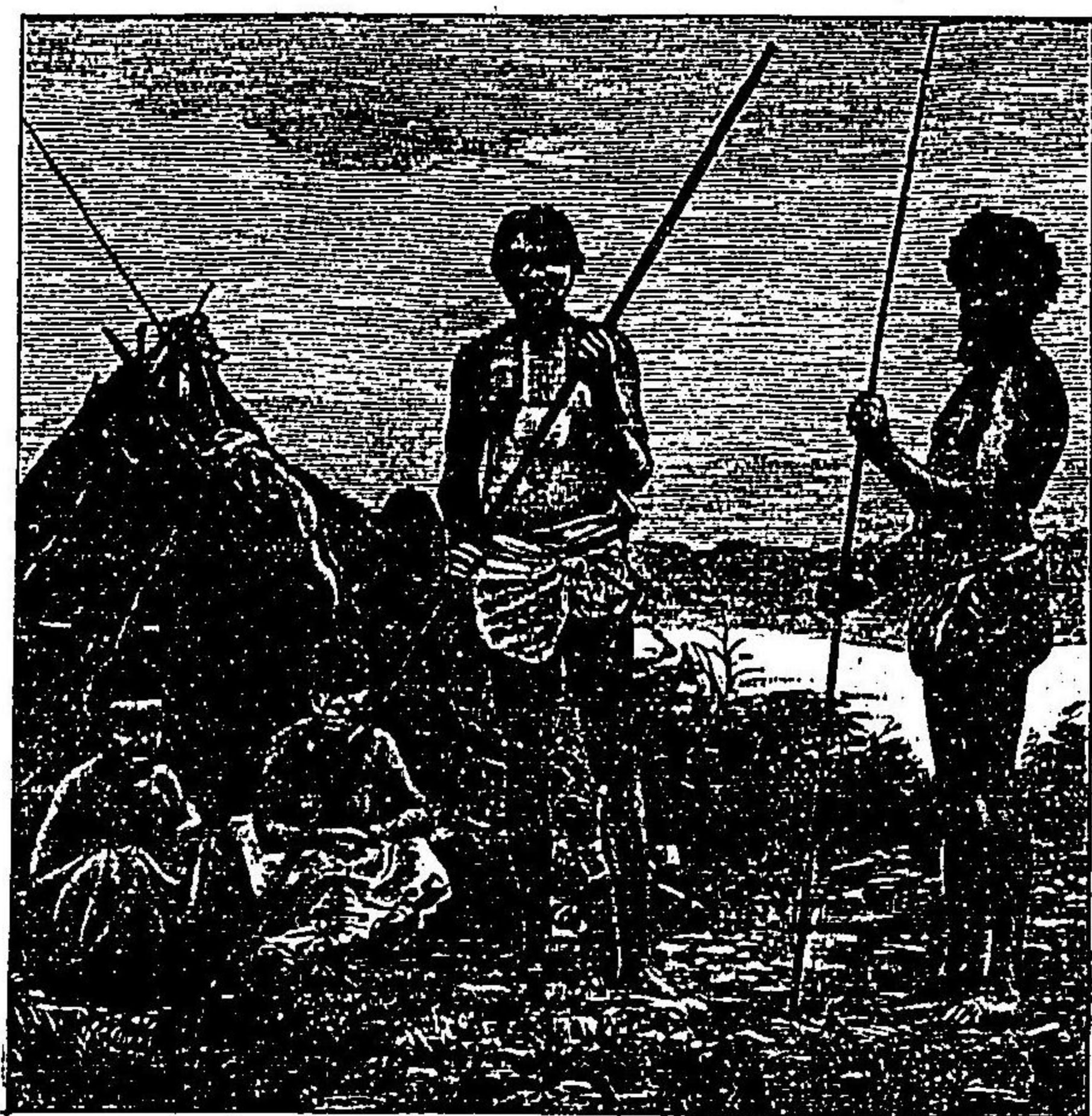
天産 天産中、固有の動植物は、他の大陸のものと異なりて、頗る珍奇の種類あり、著しき植物にはユーカリ、アカシア

濠洲の動物



—等動物には、カンガルー、ダックビル、エミー、風鳥等あり。家畜穀

ユーカリは高さ二
百五十尺に達
す。樹の皮は
甘く、その樹
液は、高き樹
に於て、高さ
五尺に達す。稀
るに、高さ五
尺に達す。稀
るに、高さ五
尺に達す。稀



濠洲土人の風俗

類、果樹の如き有用の動
植物は、大抵歐羅巴より
の移植に係る。鑛物は甚
だ多くして、各地に産出
し、中にも金の産額、世界
第一なり。

住民 住民は、總計殆と
四百萬人にして、其の大
部は英吉利、獨逸、支那等
の移住民に屬し、土着の

濠太利亞族は僅に其の一小部を占むるのみ。宗教は、新教最
も盛に行はれ、之に次ぐを舊教とす。教育は、日に進歩し、既に
二三の大學を設立せり。

政治 全土英吉利の領地にして、五個の殖民地に分れたりしが、近時改めて、各殖民地を州となし、近海のタスマニア島と共に、濠洲聯邦と稱し、聯邦總督を置きて、政務を統轄せしむ。

聯邦州名

西濠太利亞 南濠太利亞 クキーンズランド ニューサウスエールズ
ビクトリア タスマニア

濠洲飼養の羊は其頭數の第一なり

生業 牧畜は濠洲第一の生業にして、南東部に行はれ、盛に羊を飼養し、羊毛の輸出莫大なり。耕作も亦南東部に行はれ、主なる産物には、穀物、砂糖、烟草等あり。鑛業は、金の採掘を第一とし、主に北東部及び西部地方より出で、その他石炭、銅、寶石等あり。外國貿易は、産業の發達と共に漸次進歩し、主なる輸出品を金及び羊毛とす。取引は、重に英吉利及び其の殖民

地との間に行はれ、我が國へは羊毛、革皮を輸出し、我が國よりは米、絹布等を輸入す。

交通 濠洲の内地は、河湖の舟楫を通じ得るもの、殆ど皆無の有様にして、交通極めて困難なれど、鐵道は、年々延長して、沿岸殊に南東沿岸には、其の敷設多くして、主要なる各都邑を悉く連結せり。又南東沿岸より起りて、エーア湖畔に達す

縦貫鐵道及び電線



る鐵道は、更に北に延びて、北岸より來る鐵道と連接して、本土を縦貫すべきものたり。航路は歐羅巴、亞米

利加及び他の英吉利の各殖民地に通じ、定期航海ありて、汽船の往來盛なりしが、近來我が郵船會社も、航路を開通せり。陸上電線は、東南、西三沿岸の都邑を連れ、又縦貫鐵道線に沿

八
ひて、北岸に達するものあり。此の線海底電線と結合して、歐羅巴に通ず。

其の二 各州誌

(イ) 西濠太利亞

西濠太利亞は各洲中面積最も大にして、略全土の三分の一を占む。總べて海岸は、多少の降雨あれども、内地は乾燥にして、地味荒蕪なるが故に、人口甚だ少し。されど近時各地に金田の発見ありし以來移住者著しく増加し、グールガルチーを目下産金の中心として、此とペルスとの間に鐵道を通ぜり。

グールガルチー

(ロ) 南濠太利亞

南濠太利亞は、本土の中央部全體を占め、其の北部を北地方と稱す。内地は、概ね不毛の沙漠にして、人煙稀疎なれども、溫

フアデレー

帶中、降雨稍多き南東部は、住民多く、農業發達し、又牧畜、鑛業も盛なり。首府アデレードは、セント・ギンセント灣頭に近く位し、縦貫鐵道に當り、大學の設あり。パルマーストーンは、北沿岸に在る港にして、縦貫鐵道の北端とす。

(ハ) クキーンズランド

クキーンズランドは本島の北東部を占め、熱帶地方中、氣候最も健康に適す。物産中第一に位するは金にして、之に次ぐは羊毛なり、首府ブリスベーンは、東海岸に在りて、羊毛を輸出し、北東海岸のタウンズビルには、我が領事館の設あり。又ヨーク半島の北なるトーレス海峽内の木曜島は、其の近海眞珠に富むを以て、我が邦人の往いて眞珠採取業に従事するもの多し。

木曜島

ブリスベーン

(ニ) ニュー・サウス・ウェールズ

シドニー

ニュー・サウス・エールズは、クキンズランドの南に位する地方にして、本洲中最も古き殖民地なり。首府シドニー(四三)は、東沿岸に位せる有名の良港にして、羊毛の輸出多く、諸般の設備能く整ひ、我が郵船會社の航路に當り、又領事館の設あり。其の北なるニュー・カスルも、一の良港にして、石炭商業の中心地なり。

(ホ) ギクトリア

ギクトリアは、ニュー・サウス・エールズの南に在りて、本島の南東隅を占め、島中面積最も小なる州なれども、人口は甚だ稠密なり。曾て有名の産金地なりしが、今や其の産額大に減退し、耕作牧畜益繁榮するに至れり。首府メルボーン(四七)は南岸に位し、大洋洲中第一の大都にして、官衙、大學、博物館等建築宏壯を極め、鐵道諸方に通じ、船舶の往來繁く、我が郵船會

メルボーンは我が横濱を距ること凡そ五千哩

社の航路に當る。

(二) タスマニア

タスマニアは、バス海峡を隔てて、濠洲の南東隅に對する大島にして、心臟形をなし、沿岸は出入多くして、佳港少からず。内地は、山嶽起伏すれども、幾多の湖水小河ありて、灌漑の便備はり、加ふるに氣候頗る良好に、地味概ね肥沃なり。住民は、概ね英吉利人にして、農業牧畜に従事す。又造船用の木材に富み、鑛産も豊かなり。首府をホーバルトと稱して、南海岸に在り。

(三) ニュー・ジーンランド

ニュー・ジーンランドは、濠洲の南東に當り、南北の二大島と、スチュワルト島とより成る。島内山嶽多く、殊に南島には、高峰數多あり。又北島には、活火山ありて、地震屢起る。氣候は、北島は稍

炎熱なれども、其の他は概ね温和なり。島内牧畜盛に行はれ、盛に羊毛、凍肉を輸出す。又鑛産に富み、其中最も重要なものは、石炭にして、金銅等之に次ぐ。住民の大部は、英吉利人にして、土人は僅に其の一小部を占むるのみ。此の地は英吉利の殖民地にして、其の總督全島を統治す。

オークランドは、北島に在りて、ハウラキ灣に臨める良港にして、船舶の出入盛なり。又クック海峡に臨みて、首府エルリントンあり、凍肉業盛に行はる。

第三節 メラネシア

メラネシア諸島は、濠洲の北より、東北に位して、皆赤道以南の熱帯中に散布す。大島を除く外は、火山島に非ざれば、珊瑚島なり、火山島には往々活火山あり。諸島皆季候風を受けて多量の降雨ある故に、植物能く繁茂す。土人はバプア族に屬

エルリントン

オーエンスタンリ
ー峰



し、食人の陋習を有するものあり。主なる諸島は左の如し。

(一) ニューギニー

ニューギニーは、又バプア島とも云ひて、濠洲の北に位し、世界第二の大島にして、面積殆ど我が國に二倍す。島内には、山脈北西より南東に亘りて、高峰少からず。中に就き南東隅のオーエンスタンリー峰は最も高く、一萬三千餘尺に達せ

り。されど此の山脈の南部なる本島の中部は、河流多くして低地をなす。氣候は、濕熱にして、健康に適せず。一般に植物能く繁茂し、又動物には、極樂鳥の美禽あり。政治上、西部は、和蘭

に屬し、東部の南半は、英吉利、北半は獨逸の保護領なり。主なる輸出品を海參、眞珠、コブラ等とす。

(二) ビスマルク群島

ビスマルク群島は、ニューギニーの北東に位し、コブラを産し、獨逸の保護領なり。

(三) サロモン諸島

サロモン諸島は、ビスマルク群島の南東に在り。其の北東部の諸島は、獨逸の保護領にして、其の他は、英吉利の保護領たり。

(四) ニュー・ヘブリーツ

ニュー・ヘブリーツは、サロモン諸島の南東に在り、英佛兩國の合同保護地にして、土人の大部は、基督教を奉ず。

(五) ニュー・カレドニア

ニュー・カレドニアは、ニュー・ヘブリーツの南西に位し、氣候溫和、地味肥沃にして、ニッケルの礦物に富みて、且農産あり。佛蘭西の領地にして、罪囚流謫の地とす。首府をヌメアと云ひ、海底電線に由りて、クキーンスランドに連絡せり。

(六) フォージー諸島

フォージー諸島は、ニュー・ヘブリーツ諸島の東に位し、二百有餘の火山島より成り、英吉利の屬地にして、晝夜は、全く英吉利と相反す。植物能く繁茂し、砂糖、コブラ、果物の輸出盛なり。本島は、太平洋諸島の殆ど中央に位し、交通の要衝に當るを以て、船舶の寄港するもの多し。

第四節 ミクロネシア

ミクロネシアは、メラネシアの北及び北東に當りて、赤道の南北に散布す。各島皆熱帯に在れども、涼風絶えず海上より

吹來りて、氣候健康に適す。分れて火山島及び珊瑚島の二種となり、火山島には、活火山多し。土人は、ミクロネシア族にして、漸次衰滅に及び、宗教は、主に基督教行はる、主なる諸島は左の如し。

(一) マリアナ諸島

マリアナ諸島は、我が小笠原島の南方に當れる火山島にして、富士帶火山脈中に在り。元は西班牙領なりしが、現今諸島中の最大なるグム島は、亞米利加合衆國に屬し、其の他は、悉く獨逸領となれり。

(二) カロリン諸島

カロリン諸島は、マリアナ群島の南方に位し、長く東西に列り、諸島中珊瑚島多し。是亦元は西班牙領なりしが、マリアナ諸島の一部と同じく今は獨逸領となれり。

(三) マーシャル諸島

マーシャル諸島は、カロリン諸島の東に在りて、多くコブラを輸出す、亦獨逸の領地なり。

(四) ギルベルト諸島及びエリス諸島

ギルベルト諸島及びエリス諸島は、マーシャル諸島の南東に列り、共に英國に屬す。

第五節 ポリネシア

ポリネシア諸島は、太平洋の東部を占むる幾多諸島の總稱にして、氣候は殆どミクロネシアに同じ。産物は、農産を主とし、住民は、移住民及び土人にして、土人はポリネシア族に屬す。宗教は、基督教行はれ、近時佛教も亦稍行はる。主なる諸島は左の如し。

(一) サンドキッチ諸島 北亞米利加の地圖參照

サントキチ諸島(布哇諸島)は、ポリネシアの最北部を占め、赤道以北に位し、大小十二の島嶼より成り、面積千餘方里あり。南端なる布哇島最も大にして、島中には、マウナ・ケアと云ふ休火山とマウナ・ロアと云ふ活火山とあり、共に高さ一萬三千餘尺に達す。又キラウエアと稱する火山は、其の火口の周圍一里餘あり、世界最大の火口なる活火山を以て有名なり。各島共に氣候良好、地味豊饒にして、甘蔗、米等の産額多く、牧畜も亦行はれ、加ふるに太平洋交通の要路に當れるを以て、外國人の移住及び出稼するもの多し。殊に我が國人の在留するもの最も多く、殆ど六萬人に及び、凡そ全人口の三分の一餘を占む。支那人、葡萄牙人之に次ぎ、土人は僅に三萬餘に過ぎず。宗教は、主に基督教にして、我が國人中には、佛教を奉ずるものあり。此の諸島は、元獨立王國なりしが、近來亞米利

ホノルルは我が横濱を距るに凡三千四百

加合衆國に合併せられて、其の一地方となるに至れり。貿易は、主として亞米利加合衆國との間に行はれ、砂糖、米の輸出多し。首府ホノルルは、オアフ島に在り、市街頗る殷賑にして、良港を有し、船舶の出入頻繁なり。米國に往來する我が郵船會社の船舶も亦此に寄港し、我が領事館の設あり。

(二) トング諸島

トング諸島は、フジ諸島の南東に在り、英吉利の保護を受くる王國にして、輸出品には、コブラあり。宗教は、基督教行はる。

(三) サモア諸島

サモア諸島は、トング諸島の東北に位し、航通の要衝に當るを以て、其のアピア港には、船舶の出入繁し。重なる輸出品には、棉花、珈琲あり。宗教は、亦重に基督教行はる。此の諸島は、元

一王國なりしが、近時獨逸及び亞米利加合衆國の分領する所となれり。

(四) ソサエチー諸島

ソサエチー諸島は、サモア島の東方に在る火山島なり、諸島中最も大なるタヒーチ島は、氣候佳良、風光明媚なるを以て著名なり。佛蘭西領にして、基督教行はる。

(五) パウモツ諸島

パウモツ諸島は、ソサエチー諸島の東に位し、八十餘の珊瑚島より成る、眞珠貝の採收頗る盛なり。

第三章 歐羅巴洲

第一節 總論

位置 歐羅巴洲は、東半球の北西部を占め、其の北端を除く外は、全洲北温帯に位し、北は北氷洋、西は大西洋に面し、南は地中海、黒海に臨み、東は裏海に瀕し、且亞細亞洲に連なる。面積六十餘萬方里にして、六大洲中第五位に在り。分れて左の諸地域となる。

- 露西亞 瑞典 挪威 丁抹 獨逸 奧地利 匈牙利
- 瑞西 佛蘭西 和蘭 白耳義 英吉利 西班牙
- 葡萄牙 伊太利 バルカーン半島

地勢 沿岸線の延長は、面積に比すれば、諸大陸中第一に位し、而して大西洋、地中海の二沿岸に於て、最も著しく、先づ北氷洋沿岸には、コラ半島東に突出して、白海を抱き、カーニン

歐羅巴の諸國、英吉利、獨逸、佛蘭西、伊太利、希臘、亞細亞洲、北極地、露西亞、瑞西、葡萄牙、地中海、黒海、白耳義、英吉利、西班牙、バルカーン半島、コラ半島、北氷洋、大西洋、地中海、沿岸線、面積、諸大陸、第一に位し、最も著しく、先づ北氷洋沿岸には、コラ半島東に突出して、白海を抱き、カーニン

半島に對す。ノヴィア・セムリア島は、狹長なる二島より成り、其の北方の諸島と共に、バレンツ海を擁す。大西洋沿岸には、北にスカンヂナヴィアの大半島ありて、長く南方に突出し、東海(バルチック海)及び之に屬する諸灣を抱きて、ジッタランド半島に對す。此の二半島と英吉利との間に北海あり。英吉利と英吉利海峽を隔てて、ブレターニ半島突出し、其の南にピステイの大灣を控かふ。又英吉利の西北、北極圈附近に、アイスランドの大島あり。地中海沿岸には、ピレニース、伊太利、バルカールの三大半島あり、最西のピレニース半島は、地中海と大西洋とを分ち、伊太利半島は、サルヂニア、シシリ島等と共に、チレニア海を抱き、又最東のバルカール半島と共に、アドリア海を擁す。バルカール半島の東には、多島海あり。黒海沿岸には、クリミア半島ありて、アゾフ海を抱けり。

本洲は、地形上、分れてウラル高地、北西部高地、北部低地、南部高地の四部となる。ウラル高地は、主としてウラル山脈に由りて形成せられ、南北に延びて、殆ど本洲の東境をなせり。北西部高地は、スカンヂナヴィア半島を始めとして、英吉利の北部及びアイスランドを含み、山脈には、スカンヂナヴィア山脈あり。北部低地は、ピレニース半島の東北より、東境のウラル山脈に至る大低地にして、分れて東低地、西低地の二となる。其の東低地は、即ち露西亞低地にして、中部に丘陵ありて、南北の分水界をなせり。其の西低地は、更に分れて佛蘭西低地、獨逸低地の二となる。南部高地は、本洲中最も多く山脈の彙集せる所にして、其の重なるものをアルプス山系とす。其のアルプス山脈は、伊太利半島と歐羅巴中部諸國との境界を走り、分れて東、中央、西アルプスの三部となり、東アルプス山

脈は、更に延びて、バルカーン半島に連亘し、西アルプス山脈は、南東に走りて、アペナインス山脈となり、伊太利半島を貫通せり。其の他西にピレニース山脈あり、東にカルパチア山脈あり、此の地方にも匈牙利低地を始めとして、二三の小低地あり。

本洲河流の發源地に二あり、一は露西亞低地の中央に位する丘陵にして、一は南部高地のアルプス山脈及び其の附近の低山脈等なり。而して分水界は、北東より南西に本洲の中央を斜斷するを以て、河流の方向、一方に偏せず、水量殆ど平等に配布せられ、又運河に由りて聯絡するもの多きを以て、漑灌十分に、交通の便大なり。今河流の主なるものを擧ぐれば、北氷洋斜面にベチラ、ドキナの二河、大西洋斜面にオーデル、エルベ、エーゼル、ライン、セーン、ロアーの六河、黒海斜面に

ドナウ、ドニエプル、ドンの三河、裏海斜面にヴルガ河あり。湖沼の大なるものは、ラードガ、オネーガ等にして、北部に在り、又アルプス山脈中には、小湖多く何れも風光佳し。

氣候 本洲の大部は、温帯に位する上に、灣流近海を洗ひ、且諸山脈の位置、南西の暖風を妨ぐることに少きを以て、緯度に比すれば、氣候温和なり。而して西部は、一般に海洋性氣候にして、寒暑の差少く、雨量豊かなれど、東部に至るに隨ひ、大陸性氣候となり、寒暑の差強く、雨量稀少なるに至る。されど、南北氣温の差は、割合に少し。蓋し灣流は、北氷洋沿岸に温暖を與へ、之に反して、南部は地勢高く、空氣冷涼なればなり。

天産物 植物は、處に由りて異なり、北部は、其の種類甚少く、僅に蘚苔及び矮小の樹木を見るのみ。中部は、葡萄の栽培最も盛にして、又小麥、裸麥等の穀類を産し、南部は、無花果、橄

欖、葡萄、柑橘等の果實に富み、米、玉蜀黍を産す。又地中海西部の諸島には、甘蔗、椰子、芭蕉等の熱帯植物あり。野獸は、開拓の進歩に由り、他の大陸に比すれば、其の數少く、猛獸は、猪、熊に止まること、我が國に同じ。されど家畜は頗る多く、其の中馬、羊の飼養尤も盛に行はる。鑛物は、ウラル山脈、アルプス山脈の附近、及び英吉利に富み、金、銀、鐵、石炭等の産額、極めて大なり。

住民 人口は、殆ど三億八千萬にして、世界人口の四分の一を占め、面積に比ぶれば、六大洲中、最も稠密なり、而して其の配布は、西部に密にして、東部及び北端に粗なり。人種上、其の大部は、高加索人種のアールヤ派に屬し、更に希臘、ゲルマニア、スラヴの三族に分る。而してスラヴ族は、主として露西亞低地に、ゲルマニア族は北西部高地、獨逸低地及びアルプス

山脈地方に、希臘族は佛蘭西低地及び南部の各半島に住す。其の他高加索人種に屬するシム派、蒙古人種に屬するフィン族、土耳其族等あれども、其の數少し。宗教の一般に行はるるは、基督教にして、分れて舊教、新教、希臘教の三派となれり。舊教は重に希臘族の間に、新教はゲルマニア族の間に、希臘教はスラヴ族の間に、信徒の數は、舊教に屬するもの最も多く、新教、希臘教順次に次ぐ。其の他回教、猶太教あれども、共に信徒少く、勢力微々たり。教育は、一般に普及し、六大洲中第一に位す。

交通 道路は概ね能く整ひ、鐵道は、四通八達の有様にして、重なる都會は、一として連絡せられざるはなく、又河川、運河には頗る舟運の利あり。海路は、沿岸航路、外國航路共に著しく發達し、汽船の往來繁く、其の他郵便、電信、電話等、交通機關

の設備、至らざるなく、盡さざるなし。

第二節 露西亞

位置 露西亞は、本洲北部低地の大部を占むる大國にして、北は北氷洋より、南は裏海、黒海に連なり、東はウラル山脈より、西は東海に達す。面積殆ど三十五萬方里にて、凡そ我が國の十二倍に當る。

地勢 沿岸は、北氷洋面に、白海の灣入あり、東海方面に、フィンランド半島の、ボスニア灣とフィンランド灣とを分つあり、其の外リガ灣あれども、此等二方面の諸港は、殆ど半歲の間、氷塊の爲めに閉鎖せらるるの不便あり。又黒海には、オデッサ灣、アゾフ海あれども、地中海に通ずる門戸は、他國の管轄に屬するを以て、亦便宜多からず。

内地は、謂はゆる露西亞低地に屬し、一望無限の大平原にし

ウ
ル
ダ
イ
丘

て、東は歐亞の境なるウラル山脈より、西はカルパチア山脈に至るまで、一の山脈を見ず。唯内部には、ウルダイ丘及び之に屬する丘地ありて、一方には裏海及び黒海に、又一方には北氷洋及び東海に注ぐ諸大河の發源地をなせども、其の高さ一千尺に満たず。ウラル山脈は、此の國唯一の山脈なれども、最高峰と雖も五千五百尺を出づるものなく、傾斜極めて緩かにして、頗る鑛産に富めり。

河流は、概ね内地の丘地に發源して、三方に流る。而して、地勢の結果に由り、大率長大にして、且流れ緩く、又運河を以て互に連絡せらるるを以て、産業交通に便宜を與ふること多し。然れども北部の河流は、冬季氷結すること長き爲めに、多く用をなさざること、西比亞利に於けるが如し。其の他の大河も、丘地を通過する際、屢瀑布をなすこと、交通に不便なる海

オネーガ
湖
ラード
ガ湖

オネーガ
湖
ラード
ガ湖

洋に注ぐこと等に由りて、其の利を殺がること大なり。河流の主なるものは、北氷洋斜面のベチラ、ドキナ東海斜面のヂュナ、ニューメン、ワイクセル黒海斜面のドニエストル、ドニエプル(五〇〇)、ドン裏海斜面のヴルガの九大河とす。中に就きヴルガ河は、長さ殆ど千里に及び、歐羅巴第一の長流、露西亞東部第一の交通路にして、運河に由り、諸大川に通じ、此より三方の海洋に連絡し、且其の流域には、種々の産物多し。湖水の大なるものには、オネーガ湖、ラードガ湖(一、一七〇)あり、後者は歐羅巴第一の大湖とす。其の外二湖の附近には、小湖多し。

氣候 氣候は純然たる大陸性にして、歐羅巴中寒暑の差最も甚だし。又北氷洋より吹き來る寒風を遮るべき山脈なきを以て、國中平等に寒氣を被り、冬季の溫度は、同緯度に位す。

る西部諸國に比すれば、一層低く、國內大抵氷雪の世界と化し、殊に北東部に於ては、水銀の氷結すること珍しからず。

住民 住民は、總數一億二千餘萬、凡そ我が國の二倍にして、人種上より云へば露西亞人、波蘭人等スラヴ族に屬するもの其の大部を占め、前者は多く中部南部に、後者は多く西部に住す。此の種族は、一見朴野なるが如くなれども、其の耐忍と遠大なる氣象とは、實に侮るべからざるものあり。此の外蒙古人種に屬するフン族、土耳其族等あり。宗教は、希臘教を國教とし、之に次ぎて盛なるを舊教とす。教育中、高等教育は稍進歩し、已に九大學の設あれども、普通教育は未だ微々たり。

政治 政治は、君主專制にして、皇帝は政治上の君主たると共に國教の教主たり。陸軍は其兵數世界第一に位し、海軍も、

亦強大なり。
 産物、生業 産物は、處に由りて、種々異同あり、従つて生業も各種に分る。先づ寒帯は、謂はゆるツンドラにして、僅に蘚苔を生じ、次に森林帯ありて、木材を産すること、西比利亞の如し。森林帯の南は、小麥、大麥、裸麥、燕麥及び麻等の産地にして、或は又工業帯と云ひ、森林帯より工業に要する薪を得。凡そ露國は石炭乏しきに非ざれども、採掘未だ盛ならざる故に、薪を以て之に代用すること多し。されど露國の工業は近年長足の進歩をなしつゝあり、ウラル山脈は、黄金、白金の貴金屬を初めとして、種々の鑛物に富めるを以て、其の地方の製鐵業の如き、最も著しく、其の他各種の紡績及び食料の製造又盛なり。工業帯の南は、農業帯にして、農業は、此の國の主要なる生業の一たり。本帯は、有名なる黒土地方にして、地味肥



露西亞の農夫

え穀類の生育に適し、麻の如きは、最も能く成長し、又小麥の特産あり。黒土地方以南は、牧畜、漁業及び葡萄の栽培行はれ、殊に牧畜は此の國主要の生業の一にして、其の副産物たる露西亞革は天下の名品たり。漁業は、裏海沿岸、特に河口に於て、盛に行はれ、石油も、亦裏海附近に産す。近年採油業大に發達して、亞米利加合衆國を凌ぎ、世界の需要高の半額に近き大量を出すに至れり。商業に於ては、國の位置上、陸路貿易最も隆盛にして、主に支那、獨逸等と取引す。其の輸入品は、棉花、茶を主とし、輸出品は、穀物、亞麻、大麻

等を主とす。我が國より輸入する主要のものは生絲、陶器、漆器なり。

交通 交通は、河川、運河、縦横に通じて、内地交通に莫大の便益を與ふるは、既に述べたるが如し。又鐵道は到る處、概ね敷設せられ、延いて西比利亞の横斷鐵道となれり。其の他郵便、電信等の設備の全きは、言ふに及ばず。

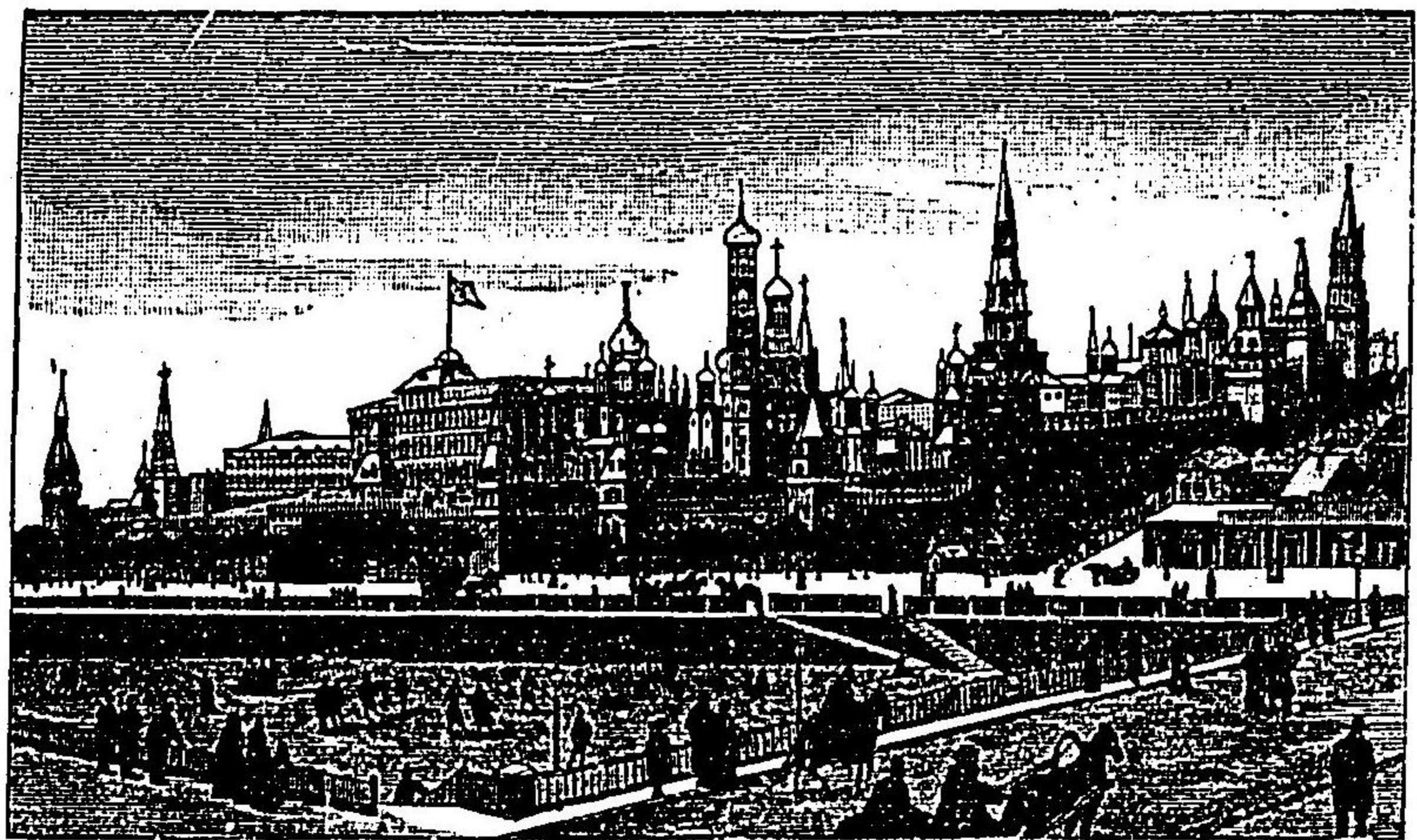
セント・ペートルスブルグ 都邑 首府をセント・ペートルスブルグと云ひ、フィンランド灣の東端、ネヴ河口に在りて、人口凡そ百三十萬、世界大都府の一にして、市街建築の規模宏大なり。商業の盛なること、全國第一に居り、工業も亦頗る盛に行はれ、且學藝の中心にして、大學の設あり、而して我が公使館の所在地なり。其の西に位する小島上にクロンスタット軍港あり、軍備の堅固を以て名高し。チュナ河口に位するリガ(二六)は、古へより商業繁盛

セント・ペートルスブルグ

リガ

モスコ

有名なる巨鐘はイヴンズブリキ寺にあり



モスコ

なる處にして、國內屈指の貿易市なり。モスコ(九八)は露西亞の舊都にして、ナポレオン一世の敗北地たるを以て、其の名高く、其のクレムルには舊皇居及びセント・バシル寺等の壯麗なる建築物多し。露帝は此に戴冠式を行ふを例とす。本市は此の國第一の工業市にして、紡績、革製造等盛に行はれ、且つ國の中央に位し、國內の貿易、及び亞細亞屬地の要路に當れるを以て、西比利亞鐵道完成の日は、歐亞

兩洲交通の要處として、世界重要な市場となるべし。ニジニ・ノヴゴロッドは、ブルガ河の上流に位し、水陸交通の要衝に當る。又此の地は、毎年期を定めて、大市を開き、其の期には、無數の商賈諸國より來集し、取引盛大を極むと云ふ。此より河を下れば、歴史上に有名なるカザンに至る。アストラハンは、裏海沿岸の最要港にして、漁業盛大なり。キーエフ(二四)は、ドニエプル河の上流に位し、南西地方貿易の中心たり。其の東方にカルコフあり。黒海西岸の最良港なるオデッサ(四〇)は、小麥の輸出多く、露西亞義勇艦隊の船舶、常に本港と東洋との間を往復す。セバストポル軍港は、クリミア半島の南西端に在り、此の半島は、クリミア戦争を以て有名なる處とす。

キーエフ

オデッサ

ワルソー

ワルソー(六三)は、波蘭の舊都にして、ワイクセル河の左岸に在り、宏壯美麗なる建築物多く、商業も亦頗る盛大なり。ヘルシングフォルスは、フィンランドの首府にして、フィンランド灣の北岸に位す。

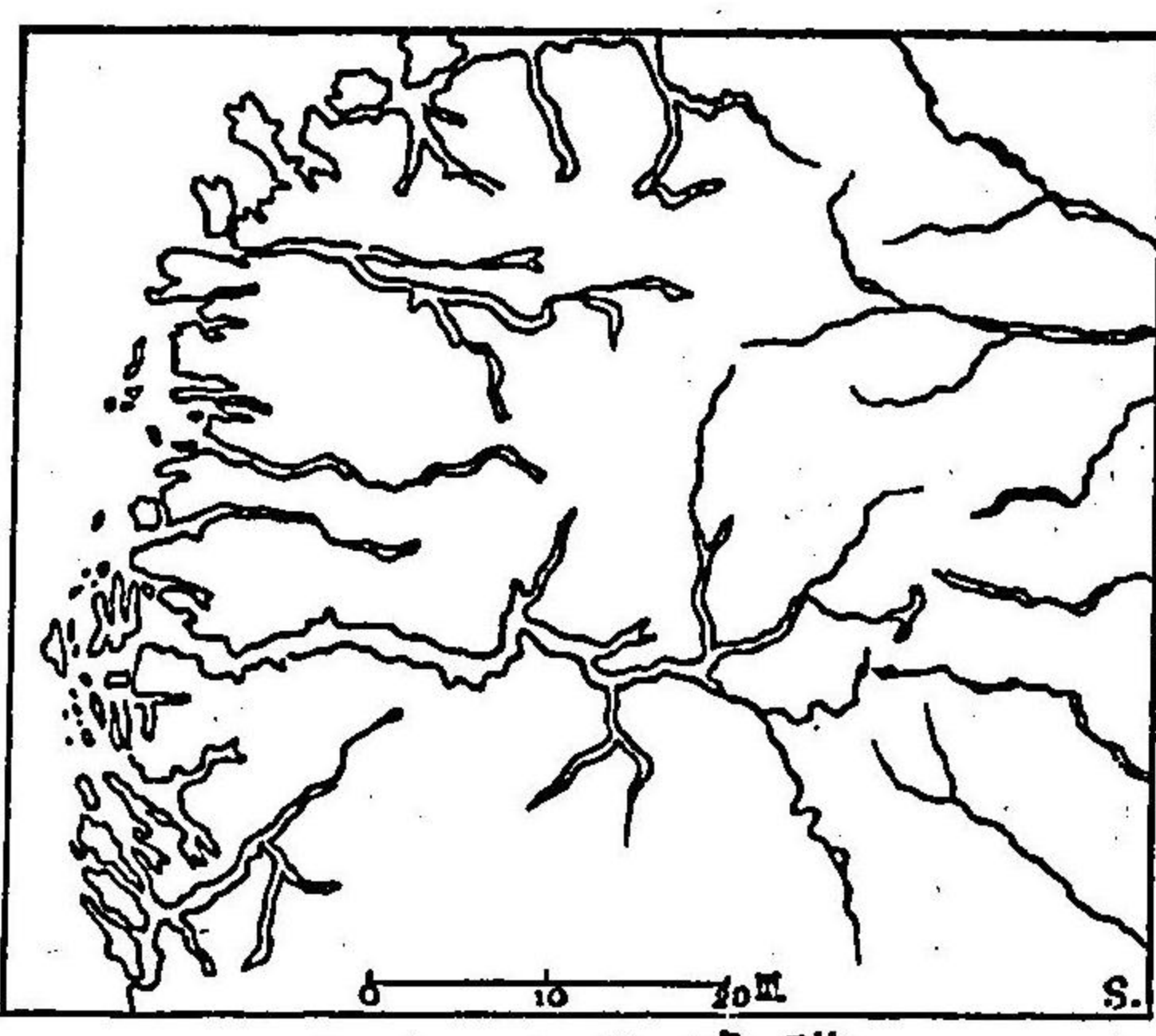
第三節 瑞典、諾威

位置 瑞典、諾威は、二國相並びて、露西亞の北西隅より南方に突出せるスカンデナヴィア半島の全部を占め、面積凡そ五萬方里にして、其の五分の三は、瑞典に屬し、五分の二は、諾威に屬す。

地勢 沿岸線の發達は、頗る著しく、殊に諾威の西岸は、フルと稱する入海、深く陸地に侵入するを以て、大船自由に内地に達する便あり。又近海に島嶼多し。

地形は、スカンデナヴィア山脈大西洋沿岸に近く連亘して、一

スカンデナヴィア山脈



ノルウェーの威諾

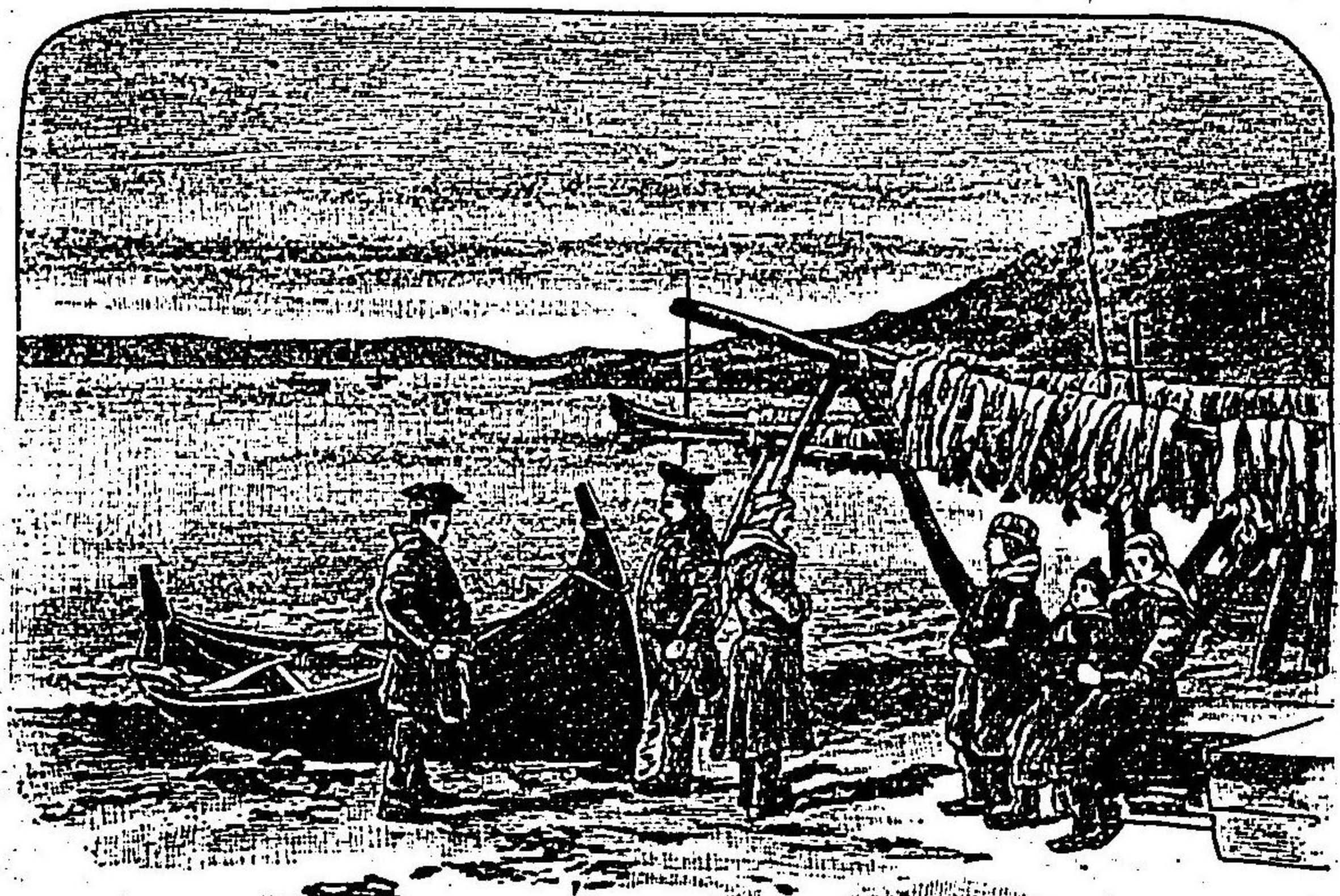
エーネル湖
エッテル湖

以て、水流多く瀧をなし、其の景誠に壯觀なりと云ふ。されば
 河流は、運漕の用をなすこと少しと雖も、水量豊富にして、水
 力の利用すべきもの多し。湖沼は、頗る多く、形状狭長にして
 概ね河道に當れり。主なるものを南部のエーネル、エッテルの
 兩湖とす。

帯の高地をなし、是より漸次東海
 沿岸に低下せり。されば半島の西
 部を占むるノルウェーは、域内山地多く、
 瑞典は、之に反して、稍平行なり。
 河流は、スカンディナヴィア山脈を發
 源地とし、皆海に向ひて直流する
 故に、長さ短くして且急なり。特に
 ノルウェーに在りては、山勢海に迫るを

氣候 氣候は、東部の瑞典に於ては、大陸的にして、冬期沿岸
 氷結すれども、西部のノルウェーは、灣流の爲めに緩和せられ、沿岸
 も氷結の憂なく、且雨量多し。又二國共に高緯度に位するを
 以て、夏短くして冬長く、寒帯に入りては、冬季夜國となる。
住民 住民は、總計殆ど七百四十萬人にして、其の配布の比
 率は、瑞典に五にしてノルウェーに二なり。人種は、其の大部分は、ゲ
 ルマニア族に屬し、蒙古人種北部に住すれども、其の數甚だ
 少し。宗教は一般に新教行はれ、教育は普及して、古來學者多
 く出づ。

政治 政治は、二國合して一王國をなし、共に立憲政治を行
 へども、各獨立せる立法行政の機關あり。
生業、産物 生業の主なるものは、漁業と鑛業となり、漁業
 は殊にノルウェーに盛にして、其の北西岸は、世界三大漁場の一と



ノルウェーの漁場

稱せられ、鯨、鱈の收穫多し。鑛産は鐵最も多く、銅、銀之に次ぐ、農業は殆ど半島の南部に限りて行はるれども、林産は一般に豊富にして、木材は其の質堅牢なるを以て著る。工業は主なるものは、瑞典の製鐵業にして、貿易は、主に合衆國及び英國との間に行はれ、木材、海産物、鐵を主要なる輸出品とし、我が國へも鐵を輸出す。

ストックホルム

クリスチアニア

交通機關は悉く備り、殊に諾威は、幾多の船舶を所有し、盛に海運業に従事す。

都邑 ストックホルム(三〇)は、瑞典の首府にして東海に瀕する數多の島上に跨り、貿易盛に行はる。カテガット海峡に臨めるエテボリは此の國の主要なる海港なり。

諾威の首府クリスチアニア(二三)は、國の南部なる同名のフールに臨み、貿易製造頗る盛なる處とす。南西沿岸のヘルゲンには、鯨漁の盛なる處にして魚類、材木等を輸出す。

第四節 丁抹

丁抹は、獨逸低地の北に突出せるシュットランド半島及び其の附近に在る、シーランド、ラーランド等の諸島より成立して、東海と北海との間に在り。面積凡そ二千六千方里にして、殆ど我が九州に等しき小國なり。

氣候 沿岸は概ね出入多く、地形は、一般に平坦にして、獨逸低地の一部をなす。氣候は、國の大部海に面するが故に、海洋性氣候にて、頗る溫和なり。

住民 住民は總數二百五十萬にして、人種はゲルマニア族に屬し、新教を奉ず。教育制度は、大に完備し、政治は立憲君主政體なり。生業中、農業は第一に位し、牧畜、漁業等は之に次ぎ、貿易は重に獨逸、英吉利、瑞典、諾威との間に行はる。交通機關の完備せるは、言ふに及ばず、此の國の大北電信會社は、亞細亞近海の殆ど全部に於て、海底電線の獨占權を有せり。

都邑 首府コーペンヘーゲン(三七)は、ジールランド島の東海岸にあり、貿易上、軍事上、東海の要地を占め、貿易頗る盛に行はる。

アイスランド アイスランドは、丁抹の屬地にして、土地寒帯に迫り、

コーペンヘーゲン

氣候甚だ寒きを以て、樹木なく、穀物なく、唯馬鈴薯とキャベージとを生ずるのみ。されど教育は本國丁抹と共に普及せり。本島に有名なるガイサーの熱泉は、噴出の高さ六十尺に及び、天下の奇觀たり。



第五節 獨逸

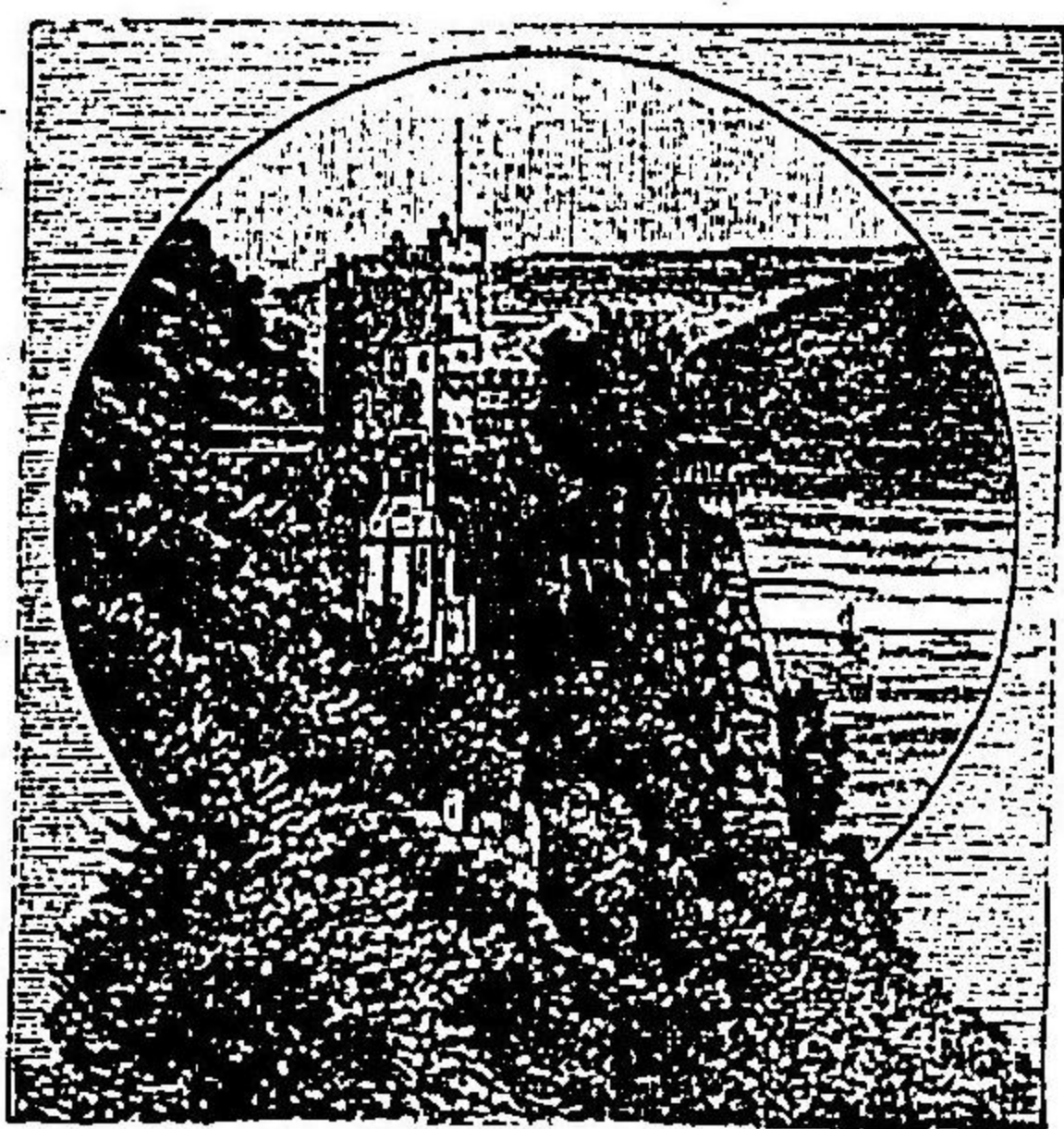
位置 獨逸は、又日耳曼とも云ひ、歐羅巴洲の中央に位する帝國にして、北は丁抹に接し、又東海、北海に面し、其の他の三方は、露西亞等の六國と境を交ふ。面積は、殆ど三萬四千方里にして、分れて四王國、六大公國、五公國、七侯國、三自由市及び一帝領たり。

地勢 沿岸は、一般に低平にして、出入著しからず、されど地形は、頗る變化多く、南西部は山脈繁くして、一般に高地をなし、北部及び東部は平野にして、謂はゆる獨逸低地をなす。而して凡そ此の高地方を上獨逸と云ひ、低地方を下獨逸と云

エルベ河
ライオン河
等

カイゼル
キルヘル
ム運河

ふ。此の二部は、地文上にも、人文上にも異なる處多し。河流は、大河の多きこと、露西亞に次ぎ、其の沿岸地方の發達最も著しく、其の主なるものには、ワイクゼル、オーデル、エルベ、エーゼル、ライン、ドナウあり。中にもラインは、運河を以て



ライオン河の畔の故城

を通じて、東海と北海とを連結せり。

氣候 氣候は概して大陸性なれど、上獨逸と下獨逸とに於

ドナウと相通じ、舟運の利最も大なり。又此の河は、國人の最も愛し、最も誇る所にして、詩に歌ひ、文に綴り、賞揚至らざるなし。運河も亦頗る多く、殊に注意すべきは、カイゼル・キルヘルム運河にして、近年の落成に係り、北方半島部の根本

て多少の差あり。又北東部は、露西亞低地の大陸性氣候の影響を受くるを以て、西部より寒暑の差大なり。住民 住民は、總數五千六百餘萬人にして、人種は、概ねゲルマニア族中の獨逸人に屬し、性武を尙び、文を好み、勇敢にして、愛國心に富めり。宗教は、北部には新教行はれ、南部には舊教行はる。教育は、世界各國中最も進歩し、二十一の大學を始めとして、其の他各種の學校皆備らざるはなく、實に世界學藝の中心と稱すべし。

政治 政治は、立憲君主政體にして、普魯西王帝位に在り。されど域内に於ける諸國は、皆別に立憲君主政治を行ひ、自由市は共和政治を敷き、各獨立の體面をなし、唯兵馬の權と外國盟約の權とを有せざるのみ。又帝領は、皇帝任命の太守之を治め、陸軍は精銳なること、世界無比と稱し、海軍も近年著

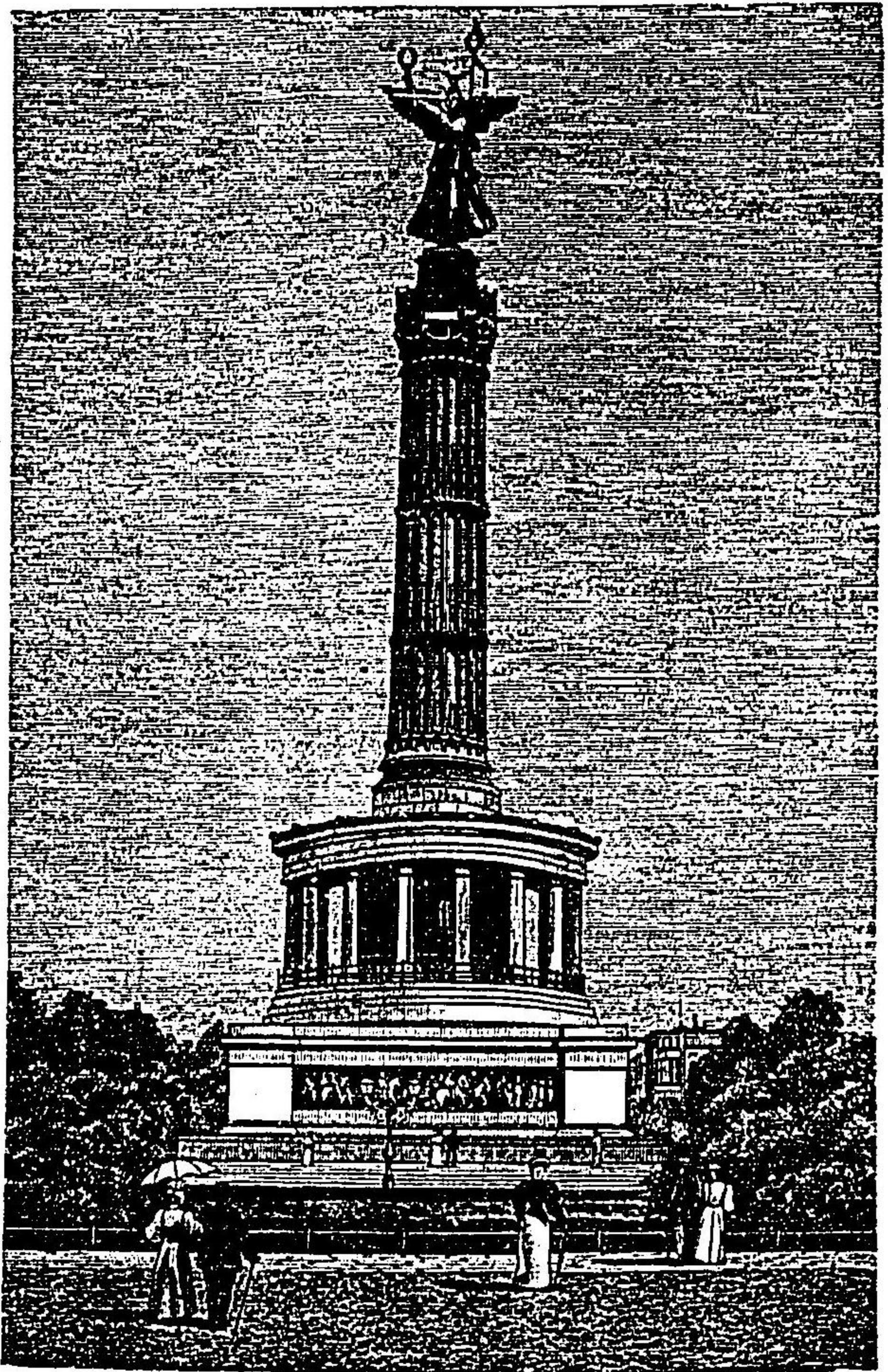
獨逸に次ぎ
て多量の
吉米、亞
加利、匈
牙、利、
地、利、
露西亞
露西亞

しく擴張せられたり。
 生業、産物 生業の主なるものは、農耕牧畜にして、耕作は普
 魯西に於て、最も發達し、産物には麥類、馬鈴薯、葡萄等あり牧
 畜も亦普魯西の東部沿岸に盛にして、主に牛、馬、羊等を飼養
 し、又鑛産には、石炭、鐵、亞鉛等あり。製造品は、絹帛、綿布、毛布、皮
 鐵器、麥酒、砂糖等にして、砂糖及び麥酒の産額は世界第一な
 り。山林は、中部南部に多く、林制能く整ひ、種々の木材を産す。
 商業も頗る盛大にして、世界第二に位し、貿易は、重に英吉利、
 露西亞、墺地利、匈牙利、亞米利加合衆國との間に行はる。主要
 なる輸出品は、砂糖、石炭、毛布にして、輸入品は、棉花、羊毛、小麥、
 珈琲等なり。我が國へは砂糖、毛織物、藥品、鐵等を輸出し、我が
 國よりは、銅、米、絹布を輸入す。海運業亦頗る盛に行はれ、其の
 他交通機關の施設悉く備る。

伯林

都邑 伯林は、獨逸の帝都にして、亦普魯西王國の首府なり。

エルベ、オーダー兩河の中央に在りて、人口凡そ一百九十萬



凱旋紀念柱

我が東京より稍多、歐洲中央部に於ける商

工業の一大中心たり。市内に凱旋紀念柱、凱旋門等あり、又有

ウブレスラ
マグデブ
ブルグ
フランク
ム・マイン
ドレスデ
ライプチ
ミュンヘ

名なる大學ありて、世界各國より來學するもの、頗る夥しく我が公使館の設あり。ブレスラウ(四二)は、普魯西第二の都會にして、毛織業盛に行はれ、又穀物の市場として著る。マグデブルグ(二二)は、堅固なる城寨あるを以て名高く、ハノーヴーはエーゼル河の支流に臨めり。ケルンは普魯西西部の大市にして、有名なるゴシック風の伽藍あり、ケルン水の産地とす。エッセンは、有名なるクルップの製鋼所を以て著れ、フランクフルト・アム・マイン(二八)は、世界屈指の銀行市にして、軍事上、貿易上の要衝に當り、ドレスデン(三九)は、エルベ河の上流に位し、サキソニー王國の首都にて、製造物盛に、其の陶器殊に名高し。ライプチヒ(四五)は、圖書の出版、帝國第一に居り、其の大學は、伯林大學に次いで著る。凡そ此の國に遊ぶものは、北部には伯林、南東部にはドレスデン、南部にはミュンヘン

グハムブル

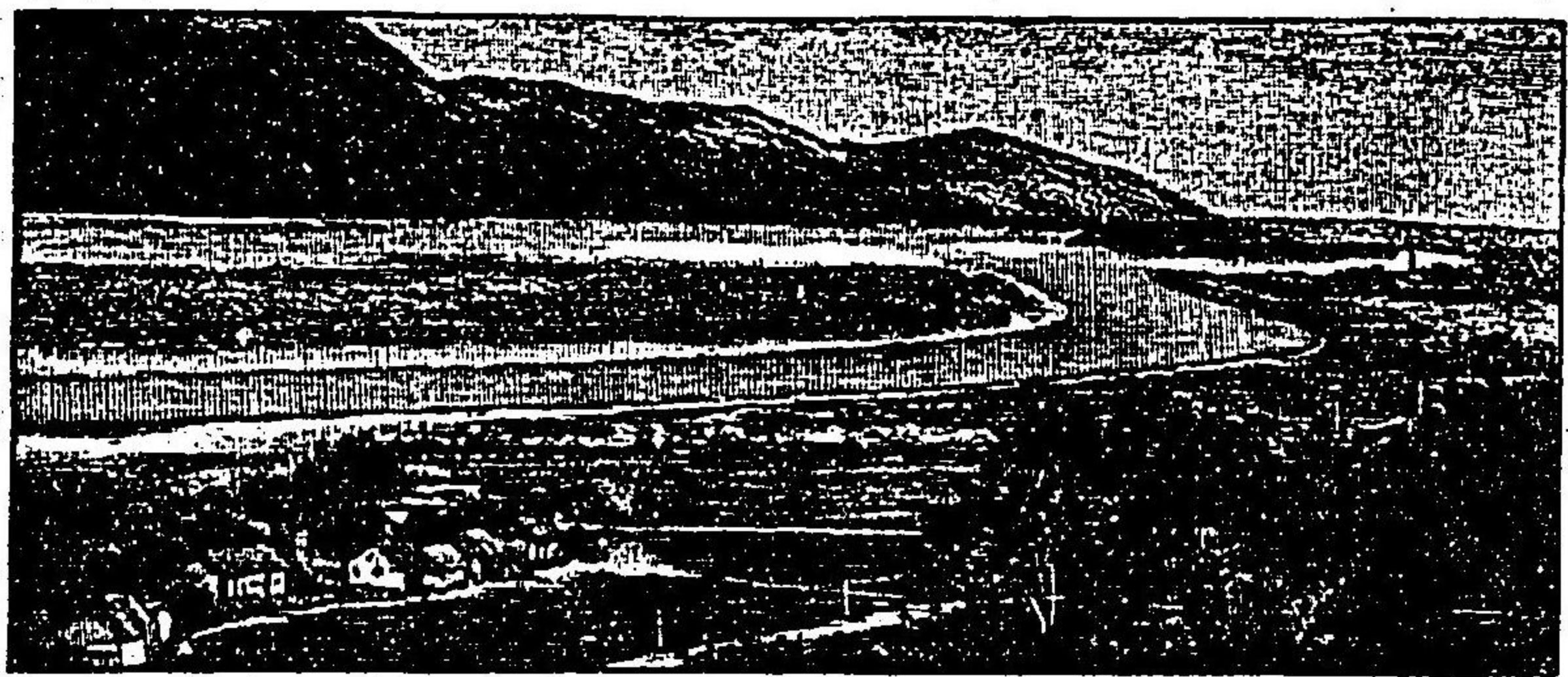
東アルプ
ス山脈、
カルパチ
ア山脈

はバヴリア王國の首都にして、麥酒の製造最も盛なり。自由市の一なるハムブルグ(七〇)は、エルベ河口の左岸に在り、貿易港としては、獨逸第一に位す。ブレメンも、自由市の一にして、エーゼル河の兩岸に跨り、貿易の盛なること、獨逸第二に位す。ストラスブルグは帝領アルサス・ローレンの首府たり。

第六節 奧地利・匈牙利

位置 奧地利・匈牙利は、獨逸の南東に位し、南部の一少部は、アドリア海に臨めども、其の他は、皆陸地に連なれり。面積凡そ四萬方里にて、匈牙利は、奧地利より稍大なり。

地勢 東アルプス山脈南西部に重疊し、カルパチア山脈、國の東境と北境とに連なりて、匈牙利低地を抱き、其の東にボヘミア高地あり。



鐵關

河流中、最も大なるはドナウ河にして、獨逸より來り、アルプス、カルパチア兩山脈に發する諸川を合はせ、國內を貫き、西境なるオルソヴを経て、東に流る。オルソヴには、鐵關と稱する隘峽ありしが、近年開鑿を終へ、船舶自由に交通するに至れり。此の河は、全長凡そ七百里に餘り、其の二分の一は、墺地利、匈牙利を流れ、漕運の便利大なること、歐羅巴、中是とライン河とに勝るなく、又歴史上にも、頗る名高し。

氣候 氣候は一般に大陸性にして、溫度の差異、甚だしけれども、沿岸地方は、

寒烈なるボラ風の吹かざる間は、冬季と雖も、頗る溫暖なり。

住民 住民は、總數凡そ四千五百萬、而して其の配布の比率は、墺地利に五にして、匈牙利に四なり。人種は、頗る錯雜し、ゲルマニア族、スラヴ族、希臘族等の外、匈牙利には、蒙古人種に屬するマジャール人住せり。然れども、言語は、一般に獨逸語を使用す。宗教も、基督教の各派、猶大教、回教等の數派に分る。教育は、頗る盛にして、普通教育能く普及し、大學は十餘校あり。

政治 政治は、墺地利帝國と匈牙利王國と聯合して、一の帝國を成す。墺地利帝は、匈牙利の王位を兼ね、と雖も、兩國に共通なるは、外交、軍事、財政のみにして、各異なりたる憲法を有し、上下兩院より成れる議會あり。陸軍、海軍共に強大にして、邊疆には數多の要塞あり。

生業、産物 此の國は低地多く、地味膏腴なるを以て、生業中農業第一に位し、耕地は殆ど全國の半を占め、重に小麥、燕麥、裸麥を産す。其の中小麥は、麵粉の原料として、天下第一と稱せらる。其の外葡萄、麻の栽培も亦盛なり。鑛産は、石炭と鐵とに富み、又カルバチア山脈の外方には、一山悉く岩鹽より成れる處あり。工業は、墾地利に盛にして、製造品中ボヘミア玻璃は、世界第一の良質なりと云ふ。外國貿易は、重に獨逸との間に行はれ、輸入品は、棉花、羊毛、珈琲、烟草等を主とし、輸出品は、家畜、砂糖、穀類、鶏卵等を主とす。我が國へは紙を輸出し、我が國よりは米等を輸入す。交通は、河流、運河を始めとして、其餘の各機關も完備せるを以て、便利頗る大なり。

都邑 維也納は、墾地利と聯合帝國との首府にして、人口百七十萬世界の一大都たり。此の地は、三方山脈に圍まれ、ドナ

維也納

ブラーグ
西方獨逸の
の境に近く
有名なるカ
ルルスバ
リド湖泉を



ウの清流其の中を流れ、日本の遊子をして、坐ろに京都の景を想ひ起さしむといふ。又其の位置南北の諸海を連絡する通路に當るを以て、商工頗る盛なり。有名なる大學及びステフンス塔あり、我が公使館も亦此に在り。ボヘミアの首府ブラーグ(二〇)は、高大なる宮殿、寺院多く、世界屈指の美麗なる市街なり。トリエスト(一六)は、同名の灣に臨み、此の國唯一の海外貿易港にして、取引頗る活潑なり。

ブダ・ペ
スト

匈牙利の首府ブダ・ペスト(五〇)は、ドナウ河の中流に於ける
ブダ市とペスト市との聯合せるものにして、穀類の賣買盛
に行はる。其北東のプレスブルグは曾て匈牙利の首府たり
し處なり。

ボスニア及びヘルツェーゴヴィナ 此二地方は、匈牙利の南西に在
り、住民の大部は、スラヴ族なれども回教徒多し。是等二州は、名義上のみ土
耳其に屬し、其の實權は、奥地利、匈牙利の握る所たり。

リーヒテンシュタイン リーヒテンシュタインは、奥地利の西に在る
小獨立侯國にして、立憲君主政體なり。

第七節 瑞西

位置 瑞西は山間に在りて、全く沿岸線なき一小國なり。北
より東は、ライン河上流、南はアルプス山脈、西はユラ山脈を
以て境界とし、歐羅巴六大強國中の四大國に接し、面積僅に

中央アル
プス山脈
モンブラ
ン

ポーデン
湖、ゲン
フ湖



瑞西の山中

二千六百万方里なり。
地勢 地形は、國內
山岳多く、中央アル
プス山脈は、南西境
なるモンブランに
於て、殆と一萬六千
尺に達し、歐羅巴第
一の高峰をなす。此
の山脈と、ユラ山脈
との間の丘地は、大
抵湖水を以て圍まれ、ポーデン湖、ゲンフ湖、稍大なり。是等の
諸湖より出づる水は、四大河に由りて三大海に注ぎ、中間屢
瀑布をなす。斯く此の國は、山嶽湖水、瀑布等に富み、風景甚だ

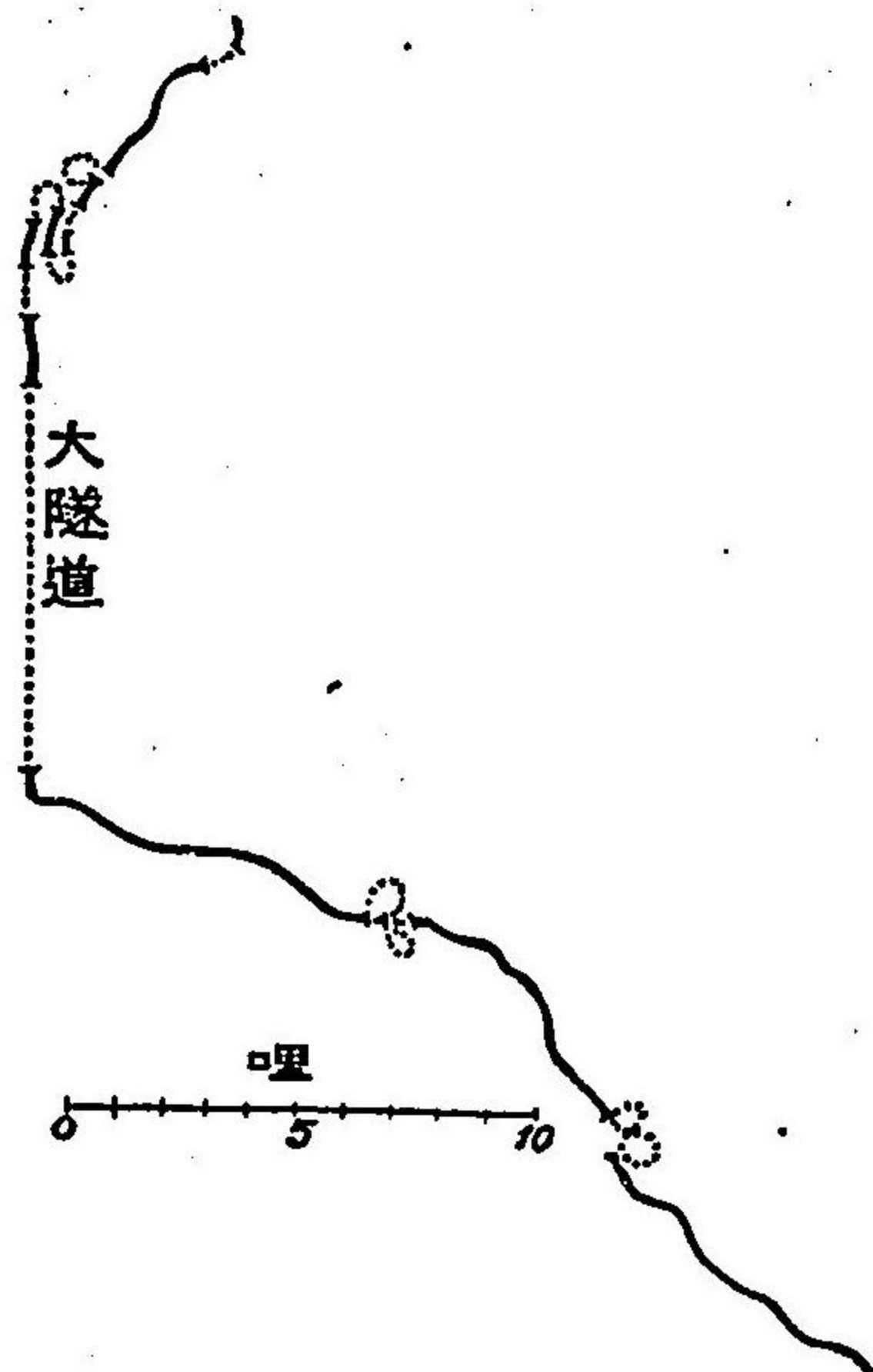
美なるを以て、年々夏季には、避暑遊覽の人多く、歐羅巴の遊園と稱せらる。

氣候 氣候は、土地高く、四面の山、常に白雪を戴き、氷河横はるを以て、概して同緯度の地より、氣温低く、又土地の高低に由りて、其の差著しけれども、一般に空氣頗る清潔なり。

住民 住民は、總數三百三十餘萬人にして、人種は過半ゲルマニア族に屬し、其の他は佛蘭西人、伊太利人にして、言語も亦三様に分る。住民の性質は、實着勤勉にして、自由を愛し、愛國の心に富めり。宗教は、舊教新教の二派にして、後者優勢を占め、教育は大に發達し、各都會の地には、概ね大學の設あり。

政治は、二十五の自治州より成る聯邦共和政體にして、上下兩院あり。大統領を選びて、行政部の長とす。

生業 此の國は平地少く、農業に適せざる故、食料品の過半



道隧大のドルタゴトンセ

道縦横に敷設せられ、交通便利を極む、中にも南方アルプス山脈を通過するセント・ゴタルド隧道は、世界最長の隧道として知らる。

は、外國より輸入す。されど林産と牧畜とは頗る盛にして、乾酪を輸出すること多し。又國中石炭乏しけれども、急流、瀑布の水力を利用して、織物の工業盛に行はれ、其の他時計、寶石細工等、著名にして、特に時計の製造は、天下に冠たり。貿易は主に獨逸、佛蘭西、伊太利等との間に行はれ、我が國へは時計、染料等を輸出し、我が國よりは生絲、絹布等を輸入す。

交通 交通は、河川皆急流なるが故、舟運の便なけれども、鐵

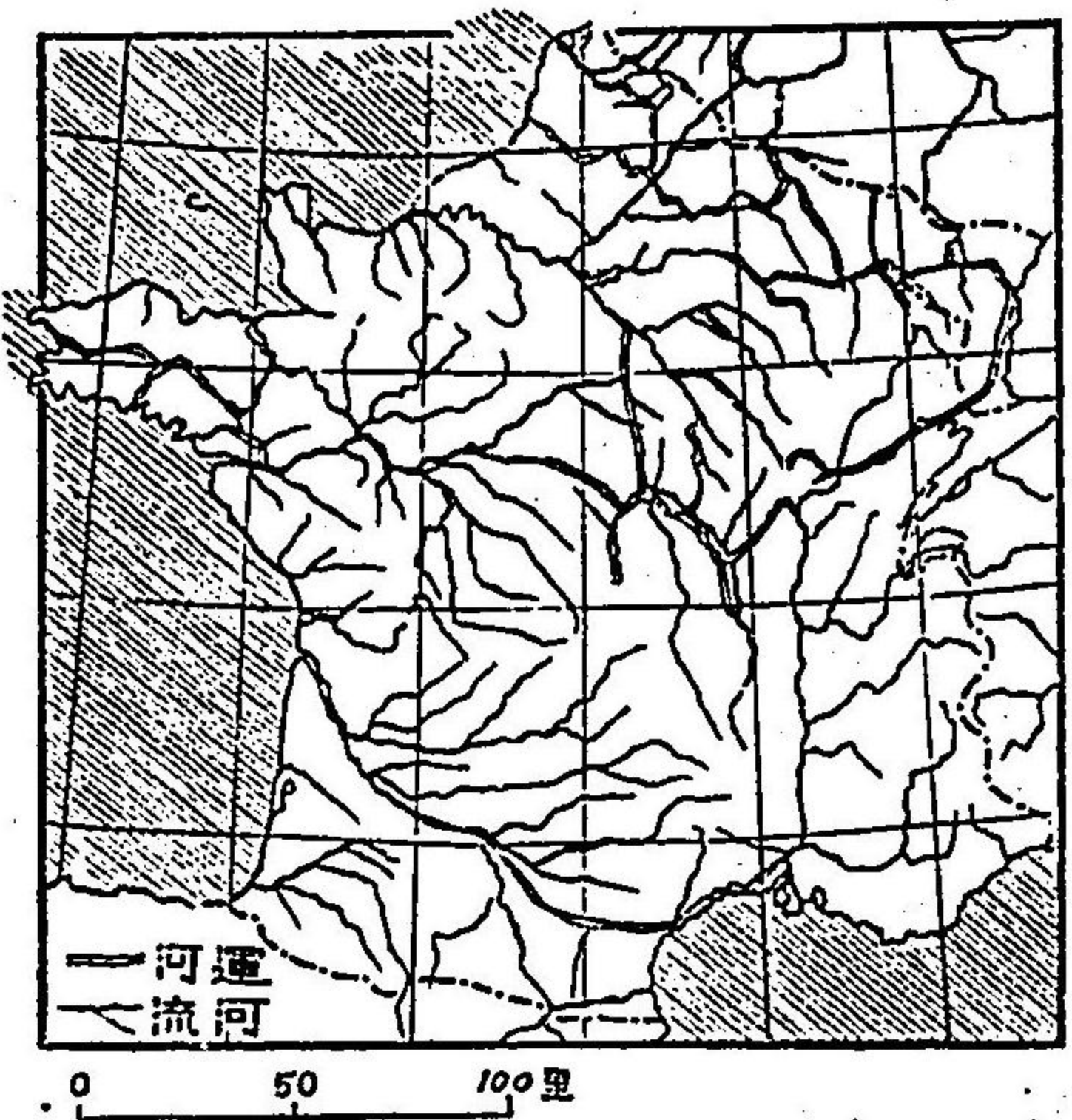
都邑 首府ベルンは國の西部に位し、萬國聯合郵便電信事務所の所在地たり。チュリヒは、同名の湖畔に在りて、絹布、綿布の製造、盛に行はる。ゲンフ湖畔のゲンフは、萬國赤十字中央社の所在地として、又時計製造地として著る。

第八節 佛蘭西

位置 佛蘭西は、ピレニース半島の北東に位し、北は英吉利海峡に臨み、東は獨逸、瑞西等の四國に接し、南方の一部は地中海に、西方一面はビスケー灣に面し、面積三萬四千方里なり。

地勢 沿岸は、北西にノルマンチー及びブレターニの兩半島あれども、其の延長は、面積に比すれば長からず。殊にビスケー灣沿岸の如きは、一帯の沙丘にして、殆ど港灣と稱すべきものなし。地中海のコルシカ島は、此の國に屬し、ナポレオ

アルプス山脈
ガロン河等



佛蘭西の河運と流河

の生地たるを以て著る。地形は、過半佛蘭西低地に屬すれども、南境にピレニース山脈連なり、アルプス山脈、ユラ山脈等、東境を劃し、其の他南東部に數條の低山脈あり。河流は、東部、南部の山地より發し、三方の海に注ぐ。概ね緩流にして、流域廣く、又運河を以て連續せらるるに由り、頗る水運の便あり。其の主なるものには、ロイン、ガロン、ロアー、セーの四河あり。其の中リオン灣に注ぐロイン河は、山間を流れ下り、景色佳麗を以て著る。

氣候 氣候は、海洋の影響を受け、概ね溫和にして、歐羅巴中

第一なり。されど東部の山地は大陸性氣候にして、寒暑の差著しく、南方地中海沿岸は、亞非利加洲の熱風を被り、暑氣強く且長し。

住民 住民は、總數三千八百餘萬にして、人口著しく増加せず。人種は、其の大部は、高加索人種に屬するケルト族、希臘族、ゲルマニア族の混合せるものにして、此の外少數の純粹なるケルト族及び蒙古人種の一派なるバスク族あり。住民の性質は、快活敏捷にして、自由を愛し、義俠を好み、愛國の精神に富めども、輕浮にして、堅忍不拔の氣象に乏し。宗教は、一般に舊教行はれ、新教は至つて微々たり。教育は、高等教育非常に進歩し、文學、技藝隆盛を極むれども、初等教育は未だ普及せず。

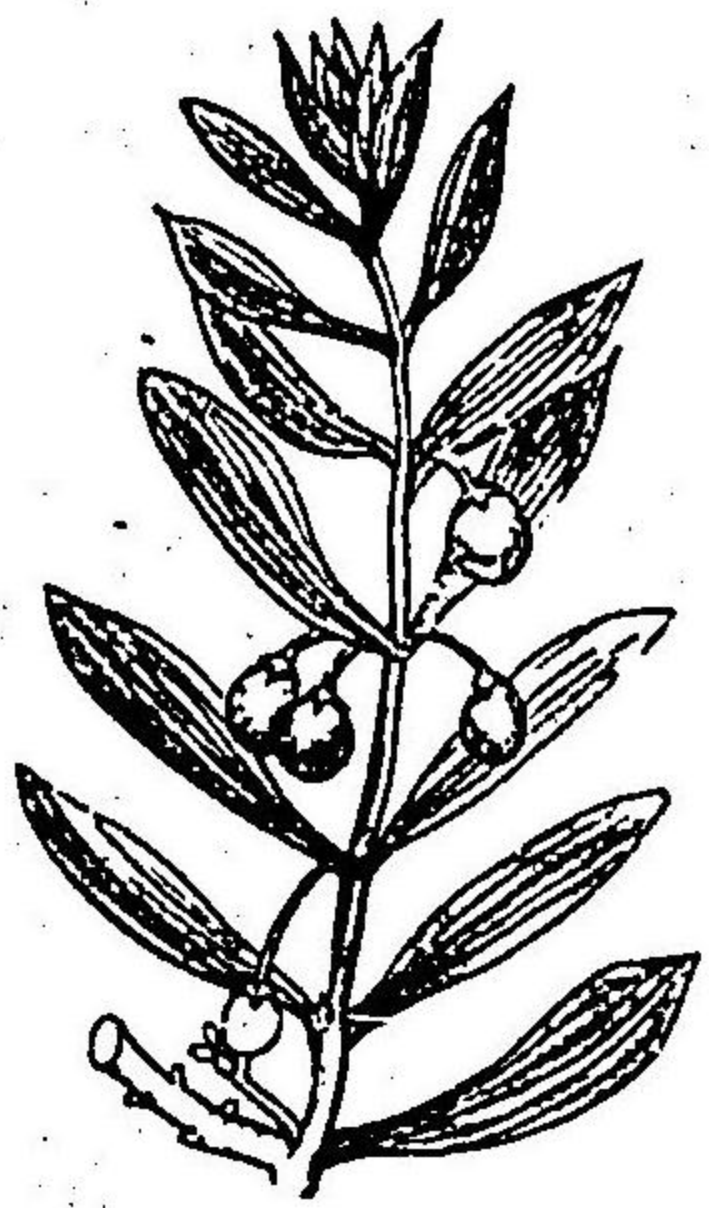
政治 政治は、共和政治を行ひ、大統領ありて行政部の長に

佛國西に大
葡國多酒
の産利を
伊太利
西牙、和
地、等、な
利、等、な

居り、任期を七年とし、上下兩院ありて、立法權を司る。陸軍は、世界第三に位し、海軍は、第二に居る。

生業、産物

生業は、農業を第一とし、葡萄は至る所概ね栽培せらる。而して凡そ國の北部は穀物地方と云ひて、専ら小麥を産し、中部は葡萄地方と云ひて、多く葡萄酒を産し、其の産額は、世界第一に位す。而して南部はオリヴ油地方と云ひて、同油を出し、養蠶亦盛に行はれ、玉蜀黍、桑、柑橘類繁殖す。鑛産は、僅少にして、鐵、石炭、石材を出し、工業は頗る盛に行はれ、殊に工藝品に於ては世界中之に匹敵する國なし。而して



オリーブ樹

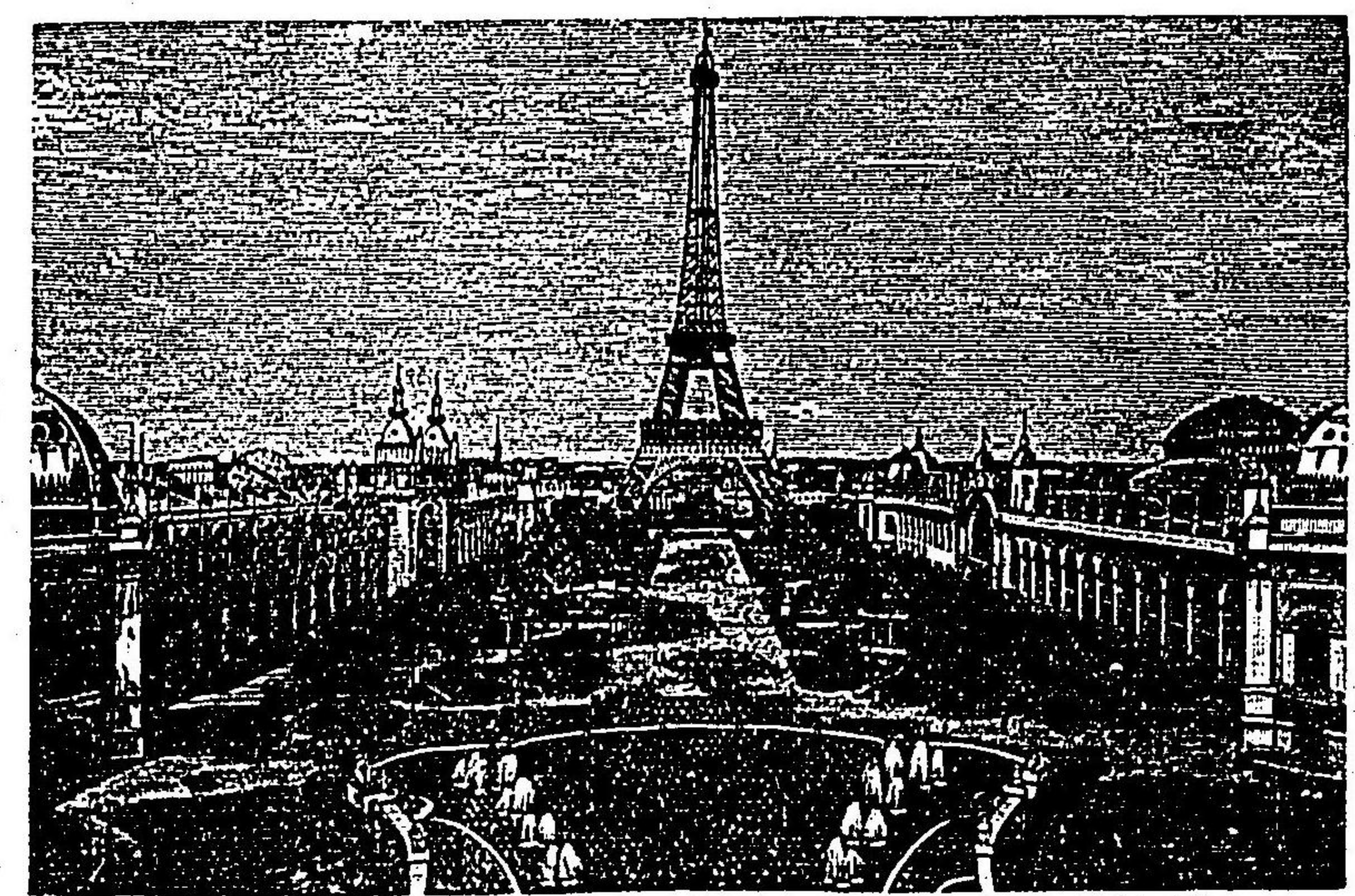
其の最も著名なるは、絹織物にして、酒類、陶器、裝飾品等之に次ぎ、造船業、商業も亦甚だ盛大にて、貿易は、英吉利、白耳義、獨逸、亞米利加合

衆國との間に行はれ、穀物、葡萄酒、羊毛、生絲を輸入し、毛織、絹布、綿布、葡萄酒、リンネル等を輸出す。我が國よりは生絲、羽二重、絹手布の輸入多く、我が國へは、毛織物、葡萄酒等を輸出す。交通は、各種の交通機關能く備はり、陸上、海上共に便利大なり。

巴里

都邑 國都巴里は、セーソン河に跨がり、人口二百六十萬を有し、世界第三の大都會なり。然れども建築の結構、市街の體裁、美麗清雅なる點に於ては、實に世界第一とす。爾のみならず、氣候最も適度にして、諸方の士女の來り遊ぶもの、雲の如く、實に歐洲遊樂の中心たり。されば華奢風流、世界第一に居り、服装風俗の流行に於ては、世界を支配すと云ふべし。府の周圍は、堅牢なる外郭を廻らして、守備を嚴にす。主なる建築物には、ノートル・ダム、ルーヴル博物館、凱旋門、エッフェール塔、國

リール



塔ル・エフ・エ

立劇場等あり。我が公使館は、此の地に置かる。市の近傍ブルセーユに宏壯なる宮殿あり。東北境のリール(二一)は綿布、毛布の織物業を以て其の名高し。ナントはロアー河口に近き處に位する繁榮の港なれども、河水淺くして、大船自由に出入せざるを以て、近時商業の大部は、下流に在るサン・ナゼールに奪はれぬ。オレアンは、ロアー河の半途に在り、古來幾度も、戰鬥の巷

ポルトー

リオン

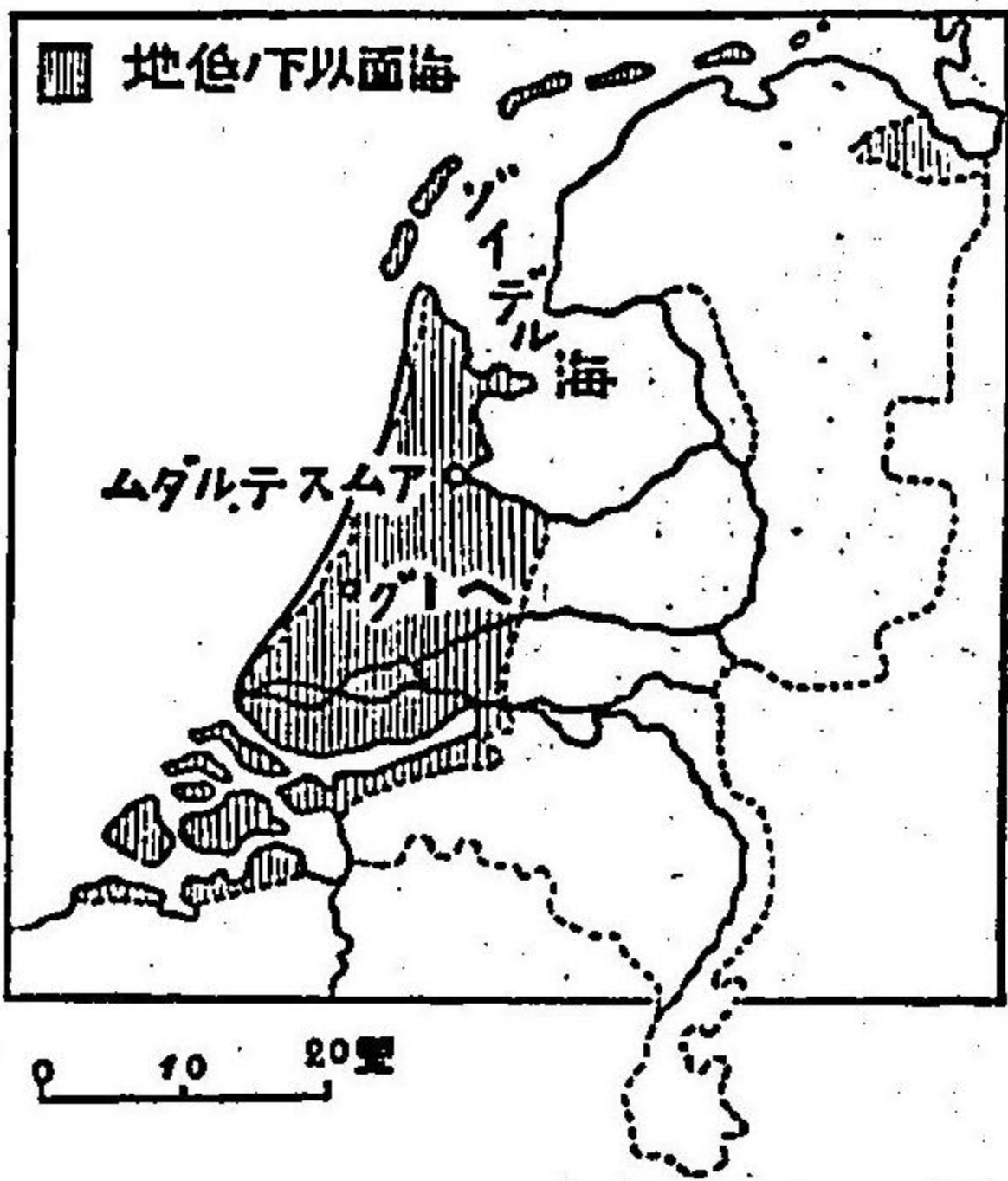
マルセーユ
は我が横濱
を隔ること
凡そ九千
哩

となり、歴史上有名なる處とす。ポルトー(二五)は佛國主要の葡萄酒輸出港にして、種々の工業行はれ、特に葡萄酒の醸造盛なり。ツールースは、ミチ運河の、ガロン河に會する處に在りて、大西洋地中海間、交通の要衝に當り、絹織業盛なり。リオン(四五)は、ロイン河に臨み、絹織物を以て世界に鳴る、我が領事館あり。マルセーユ(四九)は、地中海に臨み、東洋及び地中海沿岸諸國交通の衝に當り、東洋より來る旅客は、大抵此に上陸し、貿易亦盛大なり。

モナコ モナコは佛國の南東隅に在る一小侯國にして佛國の保護を受く。

第九節 和蘭

位置 和蘭は、獨逸低地の北西に位し、北海に臨める小王國にして、面積僅に二千百餘方里、殆ど我が臺灣に同じ。



和蘭の地形

地勢 沿岸は頗る屈曲し、ゾイデル海、深く内地に入り込めり、オランダとは、低地の意にして、其の地勢頗る低平に屬し、海面より低き處少からず。故に處々に堤防を設けて、海水の侵入を防げり。河流の重なるものは、ラ

ライン河
等

イン、マース、シユルデの三河にして、皆他國より來り、何れも河口に近づきて、數派に分る。又運河縦横に通ずるを以て、水利の大なること、世界第一と稱せらる。

氣候 氣候は、大抵溫和なれども、東境地方は、冬季寒氣甚だしく、運河堅く氷結して、人馬其の上を通行す。

住民 住民は、總數殆ど五百二十餘萬にして、人種は、ゲルマ

ニア族に屬し、質朴温厚にして、能く業を勉め、最も航海貿易に熟練せり。夙に我が國に歐羅巴の文明を移殖したるは此の國人とす。宗教は、新教、舊教共に行はるれど、前者甚だ盛なり。教育は普及し、大學は四あり。政治は立憲君主政治を行ひ、國會は上下兩院より成れり。

生業 此の國は、沼澤及び瘠地多くして、土地の過半は耕作に適せざれど、果樹栽培は、頗る發達せり。生業中首位を占むるは、牧畜にして、牛酪、乾酪、牛羊等の輸出多く、漁業も稍盛に行はれ、青魚、大口魚等名あり。工業は、石炭乏しきを以て、風力水力を利用して、織物業を營む。商業は古へより盛に行はれ、幾多の船舶を以て、獨逸、英吉利、白耳義等と取引す。交通の便も亦甚だ好し。

ヘーグ

都邑 國都は、ヘーグ(二一)と云ふ、近頃萬國平和會議開かれ

アムステルダム

最も紀念すべき地にして、我が公使館あり。其の北東なるライデンには、四百年前の創建に係る有名の大學あり。アムステルダム(五二)は、ゾイデル海の沿岸なる數多の小島上に位置し、貿易、工業共に國中第一の都會にして、珈琲の取引盛に行はれ、又金剛石の琢磨を以て著る。ロッテルダム(三三)は、之に次ぎて、商工業盛なり。

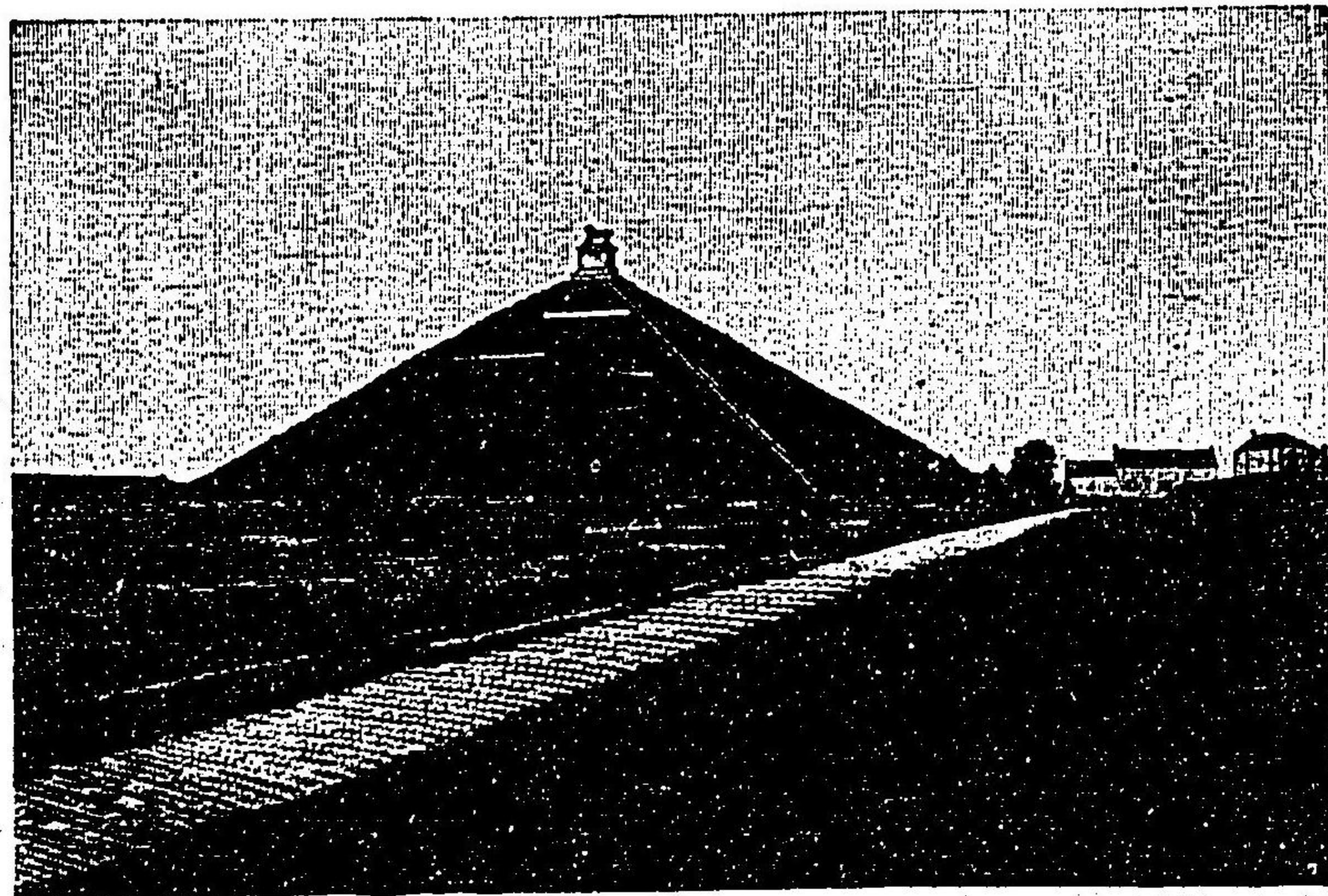
ロッテルダム

第十節 白耳義

位置、地勢等 白耳義は、和蘭と佛蘭西との間に在る一小王國にして、面積一千九百方里あり。地形は一般に低原にして、西部は、海面より低きが故に、海岸處々に堤防を築きて、海水の侵入に備ふ。シユルデ河は、數多の運河と連絡し、交通の便頗る大なり。氣候は、大略和蘭に同じ。

住民 住民は、總數殆と六百七十萬あり、其の密度は、恰も我

セブリ
ル
ニ
ツ



碑念紀の「ルルト」

が如くなれども、實は國人需用の二倍を生ず。又石炭、鐵、錫等に富み、従つて工業盛なり。重なる製造品をレス、毛布、木綿、玻璃機械等とす。交通機關完備し、殊に鐵道線路の延長は、面積に比して、世界第一に居り、従つて商業活潑なり。重に佛蘭西、獨逸、英吉利と取引し、我國へは鐵器、玻璃を輸出す。

都邑 國都ブリッセル(五

が國の二倍にして、世界中最も人口の稠密なる國とす。人種は分れてゲルマニア族、希臘族の二となり、前者は和蘭語を用ひ、後者は佛蘭西語を用ふ。宗教は一般に舊教を奉じ、教育頗る盛大なり。政治は、立憲君主政體にして、上下兩院より成る議會あり。

道鐵の義耳白



アン
セル

六は、殆ど國の中央に在り。市街華美、建築壯麗にして、玻璃を以て街上を覆へる處あり。王宮、公園、集畫院等の壯觀有名なるが故に、世に此の府を「小巴里」と稱す。我公使館の設あり。府の南なるチートルルーは、ナポレオン一世の古戰場を以て有名なり。アンセルス(二八)は、シエルデ河の右岸に位し、歐羅巴の主要なる貿易港にして、我が郵船會社の航路に當り、且領事館の所在地とす。

ルクセムブルグ大公國　ルクセムブルグ大公國は、白耳義佛蘭西、獨逸の間に在る三角形の小獨立國なり。

第十一節　英吉利

位置　英吉利は、歐羅巴大陸の北西に位する島國にして、國號を大ブリターン及び愛蘭合衆王國と云ひ、大ブリターン及び愛蘭の二大島と、數百の小島とより成り、大ブリターン

は、蘇格蘭、英蘭及びエールスの三部に分る。西に大西洋を受け、東に北海を控へ、南は英吉利海峽を隔てて、佛蘭西に對す。面積凡そ二萬方里、略我が國の六分の五に當れども、之に海外の屬領地を加へたるブリチン帝國は、實に地球全陸地の五分の一を占む。

地勢　沿岸は、一般に屈曲繁く、特に大ブリターンに於て、港灣の深く内地に侵入するもの數個あり。地形は、蘇格蘭及びエールスには、山地多けれども、英蘭は、平原地方にして、一帯の小丘、南北に亘り、而して愛蘭は、概ね低地なり。河流の重なるものは、北海に注ぐティムス、トレントの二河にして、低地を貫流する故に流勢緩く、且潮汐遠く上流に遡るを以て、能く大船を入るるに足れり。此の他の諸川も、概ね是と性質を同じくし、而して幾多の運河に由りて、互に連結する故に、水

ティム
ス河

運の利極めて大なり。湖沼は、愛蘭、蘇格蘭に多く、其の形概ね狹長にして、河流運河之を連絡し、其の間風光亦明媚なり。

氣候 氣候は、海洋性にして、概ね溫和に、殊に西岸は、灣流の影響を蒙りて、比較的溫度高く、且雨量豊かなり。然れども此の國の、濃霧多くして、青天を見ること少きは、亦灣流水蒸氣の凝るが爲めなり。

住民 住民は、總數四千餘萬、我が國よりも稍少けれども、屬領地の人口を加ふるときは、地球全人口の四分の一を占む。人種は、ゲルマニア、ケルトの二族に分れ、人口の大部は、前者に屬す。其の性質は、自尊の心高く、不愛嬌にして、耐忍の性强く、佛國人の輕快と殆と反對なり。其の言語即ち英吉利語は、歐羅巴諸國語中之を使用する人民の最も多き言語なり。宗

英吉利に次
ぎて石炭の
産額多きは
獨逸、佛蘭
西、白耳
等なり

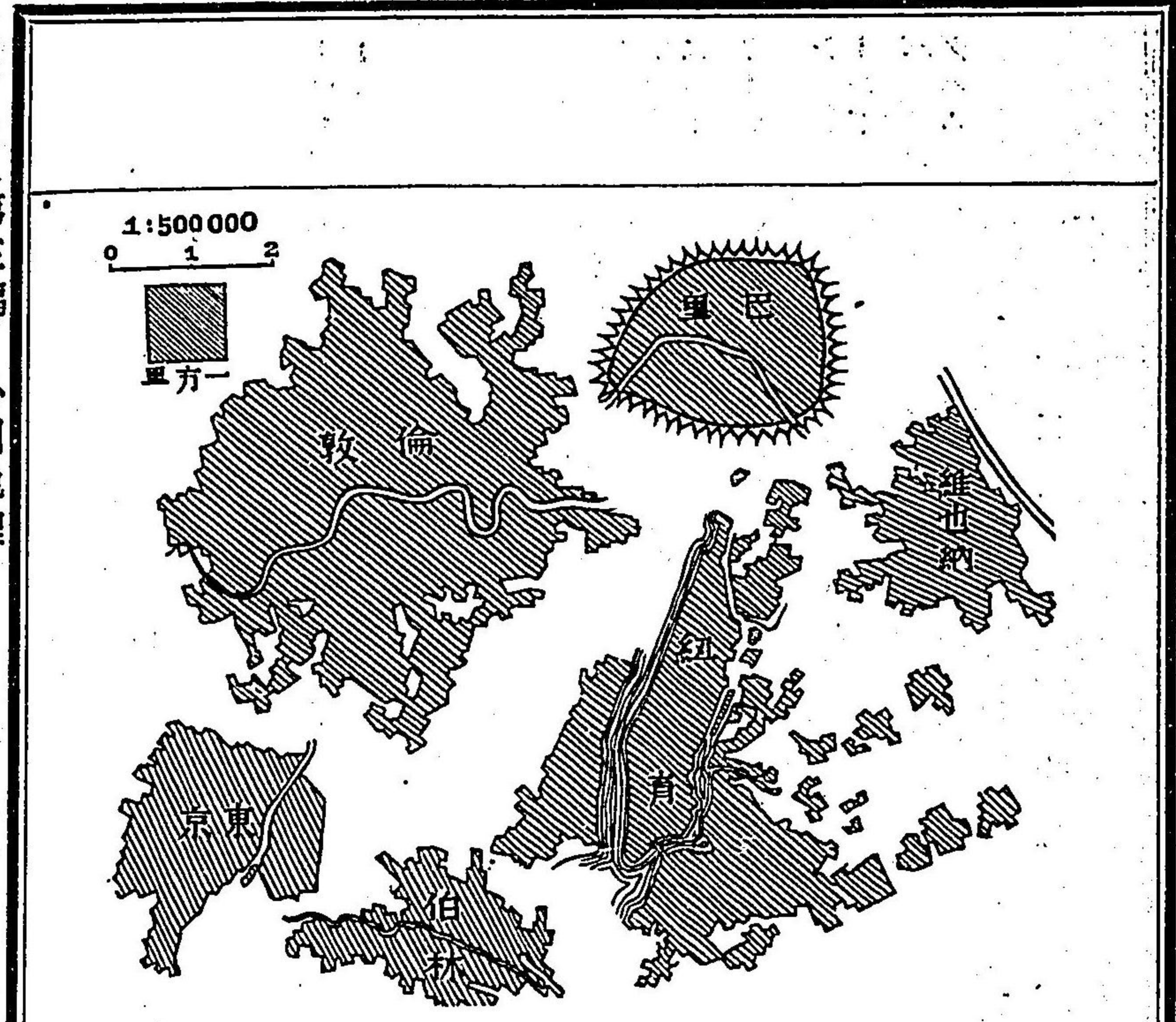
教は、新教盛行はるれど、愛蘭の人民は、多く舊教を奉ず。高等教育は甚だ盛にして、八大學の設あり。普通教育は、獨逸に比すれば、稍遜色あれども、近時大に面目を改めぬ。

政治 政治は、立憲君主政體にして、國會は、遠く五百年前の創設に係り、上下兩院に分る。陸軍は兵數少なければども、海軍は世界第一にして、世界の海王と稱せらる。

生業、産物 生業中農業は、各地に行はれ、小麥、馬鈴薯等の穀類を産すれども、國內の食物を供給するに足らず。牧畜は蘇格蘭及びエールスの高地に行はれ、沿海には、漁業盛なり。又石炭と鐵とに富み、特に石炭の産額は、亞米利加合衆國と共に世界第一に位せり。而して是等の鑛産は工業、商業發達の要素となり、遂に英國をして、今日の如く、世界第一の商業國工業國たらしめたり。工業中、第一に位するものは、紡績業に

して、遠く他國の及ばざる所とす。其の外造船業も亦世界第一に居り、有名なる造船所多く、我が國の艦船は是等の造船所にて建設せられたるもの多し。貿易は主に亞米利加合衆國、獨逸、佛蘭西、印度、濠洲等の間に行はれ、綿布、毛布、鐵器、器械類、石炭等を輸出し、穀類、棉花、羊毛、肉類、木材等を輸入す。我が國に輸入する重要品は、即ち綿絲、鐵器、毛布等にして、輸入價格最も多き國なり。我が國よりは米、麥、稗、眞田等を輸入す。交通は各種の機關能く完備し、又海運業は、世界中第一位を占む。

都邑
 英蘭及びエールス 首府倫敦は、テムス河に跨がり、人口四百五十萬餘、我が東京の三倍に餘り、世界第一の大都會なり。テムス河に架せる、倫敦橋の雜沓、同河底を通せる隧道の奇巧は、共に人目を驚かす、而して府の大部は、河の北に



世界大都會の面積比較

位し王宮、エストミンスタ
 ター寺、セント・ポール寺
 等、宏壯なる建築物數多
 あり。河の南には、大工場
 多く、石炭の烟にて晝猶
 暗し。我が公使館及び領
 事館等あり。市外の名所
 には、キンゾル宮、水晶宮
 ケンブリッジ大學、グリン
 キッチ天文臺等あり、グリ
 ンキッチ天文臺は、萬國子
 午線會議にて定めたる
 本初子午線の通過地な

り。更にテームス河を遡れば、オックスフォードあり、其の大學は、ケムブリッジ大學と名を等しくす。ポーツマウスは、英吉利海峡に臨める軍港にして、港内の廣きこと世界第一たり。愛蘭海に臨めるリブプール(六八)は、世界第一の貿易港にして、盛に棉花を輸出す。此の地の東に在るマンチェスター(五四)は、世界第一の綿布製造地として、其の名高く、此の二市間の鐵道は世界最初の敷設なり。凡そ此の附近地方は甚だ石炭に富み、現にマンチェスターとリブプールとは、共に一の石炭層の上に在り。さればマンチェスターの外、毛布製造の盛なるリーツ(四三)刃物製造を以て名高きシェffield(三八)針本の製造を以て有名なるバーミンガム(五三)石炭の輸出及び造船業の盛なるニューカッスル(二一)等幾多の工業市は、皆此の地方に連なる處に在り。

リブプール

マンチェスター

リーツ

シェffield

バーミンガム

エジンバラ(三〇)は、蘇格蘭の首府にして、有名なる大學あり。グラスゴー(七三)は、クライド河に跨がり、此の國第二の都會にして、商工業盛に行はれ、殊に其の造船業は世界第一なりと云ふ。

愛蘭 首府をダブリン(四四)と云ひ、風光佳なるを以て著れ、酒の製造盛なり。北東岸に瀕するベルファスト(二六)は、愛蘭第一の商工業市にして、リンネル製造業の盛なる處とす。

第十二節 西班牙

位置 西班牙は、ピレニース半島の大部分を占むる王國にして、佛蘭西の南西に位し、ジブラールタル海峡を以て、亞非利加洲に對す。面積凡そ三萬餘方里あり。

地勢 沿岸は、一般に屈折に乏しく、大西洋沿岸にカデス灣、地中海沿岸にブレンシア灣あるのみ。島嶼には、バレアル諸

ビレニア
ス山脈
エプロ河

島あり。地形は、高原性にして、低地少く、主なる山脈には、佛蘭西の境にビレニアス山脈連なり、南東岸に、グラーナダ山脈連なる。河流は、地中海斜面にエプロ河、大西洋斜面にグワダルキギル河あり。其の他上流を此の國に有する二三の大河あれども、皆水量に乏しくして、交通の利少し。

氣候 氣候は、沿岸地方は海洋の影響を受け、溫和にして降雨多けれども、内地は一般に大陸性氣候にして、寒暑の差著しく、雨量極めて少し。

住民 住民は、總數凡そ一千八百萬にして、人種はバスク、ケルト、希臘、ゲルマニア等の諸族の混合より成り、一般に舊教を奉じ、教育は普及せずして、無智の徒多く、闘牛の奇習あり。政治は立憲君主政體にして、國會は、上下兩院より成る。

生業 生業中、農業は第一に位し、主なる産物を穀類、葡萄等

の果物とす。牧畜漁業も亦盛に行はる。鑛物は、甚だ豊富にして、銅の産額は、世界第二なり、其の外鐵、水銀、鉛等の産額も夥しく、工業は、絹織物稍盛に行はる。商業は、嘗て盛大を極めしが、其の後國力衰へ、殖民地の大部を失ひてより、大に衰微せり。貿易は佛蘭西、英吉利との間に盛にして、葡萄、鑛物等を輸出す。交通は、鐵道頗る發達して便宜なり。

マドリッ

ナルセロ

アレンシ

都邑 國都マドリッ(五一)は、國の中央に位し、海面上二千四百尺、殆ど我が比叡山の頂に倅しく、歐羅巴中最高の都會にして、有名なる美術館あり。ナルセロナ(五〇)は、地中海に瀕し、國中第一の良港、又第一の工業市にして、綿布製造盛に行はる。アレンシア(二〇)は、綿布製造を以て著名なり。國の南東部にコルドブ、セギリア、カチスの三市あり、カチスの南東に當るトラファルガル岬は、ネルソンの英名を輝し、處とす。



ルタルラジ

アンドラ アンドラは、ピレ
ニス山脈の南麓に位する一
小共和国にして、住民は、多く農
業と獵業とに従事す。

ジブラールタル ジブラ
ールタルは、西班牙の南端に近
き小半島にして、地中海の關門
と稱せられ、要害堅固なるを以
て著れ、英領に屬す。

第十二節 葡萄牙

葡萄牙は、ピレニス半島
の一小部を占むる國にし
て、西と南とは、大西洋に臨
み、北と東とは、西班牙に接

ツエーロ
河等

す。面積僅に六千方里なり。沿岸は、西班牙と同じく出入少し。
地形は、西班牙高地の餘勢を受けて、東部は、概ね丘地に屬し、
西邊に至りて、低地稍廣し。主なる河流をツエーロ、タホ、グワ
ヂアナとす。共に西班牙より來る長流にして、稍舟運の便あ
り。氣候は、灣流の影響を受け、一般に溫和にして雨量甚だ豊
かなり。住民は、總數凡そ五百四十三萬にして、人種宗教、政治
生業、天産等は、大概西班牙に同じ。此の國も、西班牙と共に昔
時は盛に航海貿易を營み、我が足利氏の末葉には、其の國人
來りて貿易布教したることありき。貿易は主に英吉利、獨逸
等の間に行はれ、葡萄酒、コルク等を輸出す。

リスボン

首府をリスボン(三五)と云ひて、タホ河口に跨がり、今尙商業
盛に行はるれど、往時の繁榮には比すべくもあらず。ツエー
ロ河口のオポルトは首府に亞ぐ都會にして、葡萄酒を輸出

すること夥し。

第十四節 伊太利

位置 伊太利は、歐羅巴南部三大半島の中央に在りて、地中海に突出する邦土にして、其形恰も長靴の如し。東はアドリア海を隔てて、塊地利と對し、北はアルプス山脈を負ひて、佛塊等を背にし、西はチレニア海に、南はイオニア海に臨み、面積一萬八千方里あり。

アペナイ
ンス山脈
ゴスギア
ス火山

地勢 沿岸は南部に屈曲多く、而して西部は、東部より多し。島嶼はシシリ、サルチニア等の大島を始めとして、西部に多し。アルプス山脈、國の北境に蟠り、アペナインス山脈、其の西部の西アルプス山脈より起りて、本半島を縦貫するを以て、國內概ね山地に屬し、且其の間に火山多く、地震の襲來すること屢あり。火山中著名なるは、ゴスギアス、エトナ及びス

ポ-河

トロムポリとす。低原には北部にロムバルディー低地ありて、ポ-河の流域に屬す。ポ-河は、此の國唯一の大河なれども、流勢急にして、水利少し。然れども其の流域なるロムバルディー低地は、地味肥沃にして、農産豊かに、又風景の美なること、



アリラマ
流地行 (この内線横)

歐羅巴中此の平原に及ぶものなし。
氣候 氣候は、大陸部の外は、概ね溫和にして劇變なし。殊に四時大抵天色の清朗なるは、此の國の、他國に勝る處とす。然れども國內處々に、マラリアの流行するは遺憾なり。

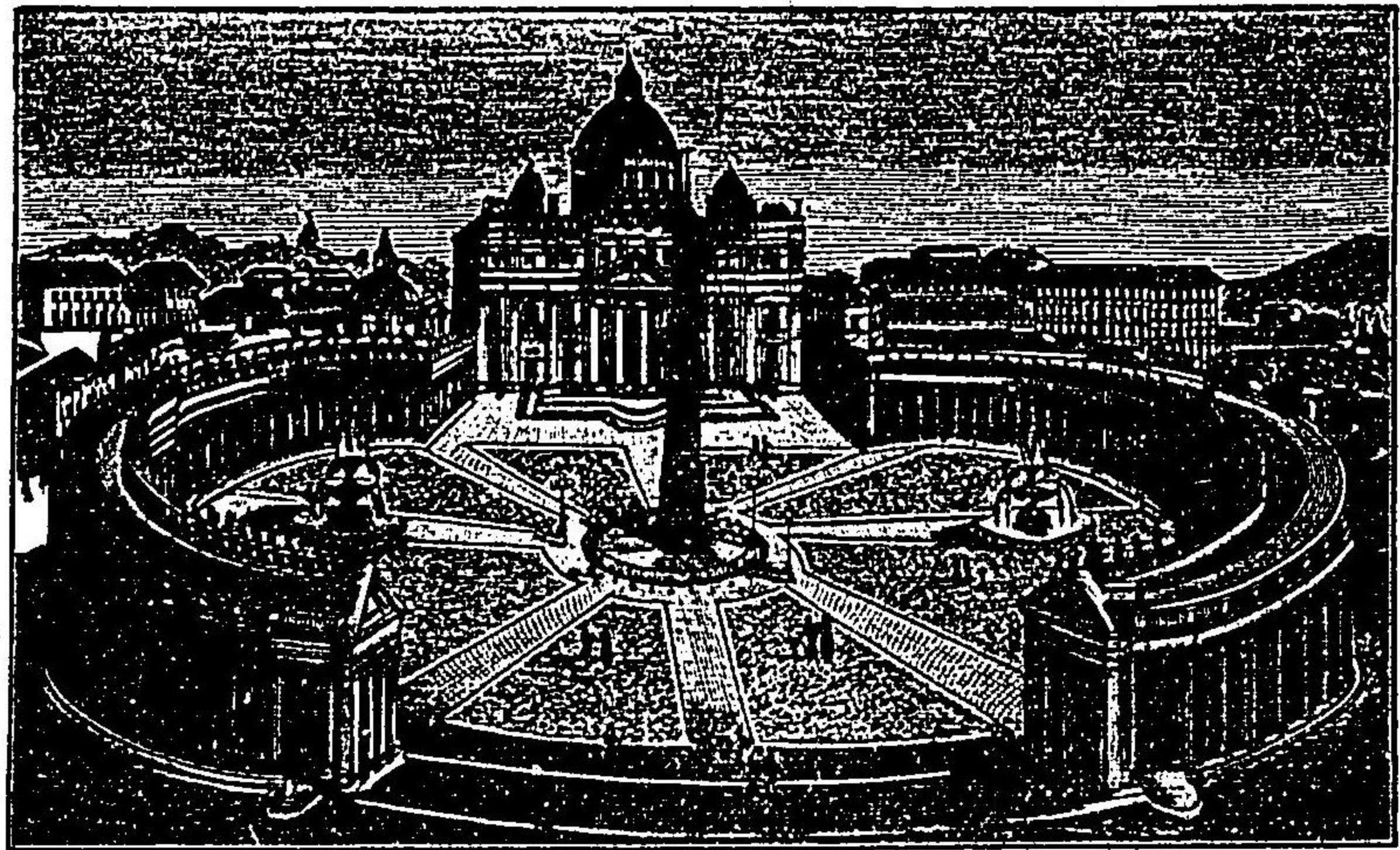
住民 住民は總數凡そ三千萬にして、我が國の三分の二なり。人種は概ね希臘族に屬し、其の性情高雅にして、文學、美術

音樂に長じ、古來歐羅巴の文化に、多大の影響を及したる國民なり。宗教は一般に舊教を奉じ、教育は高等教育盛に行はれ、大學の數二十餘あれども、普通教育は、未だ普及せず。

政治 政治は、立憲君主政體にして、國會は、上下兩院より成る。陸軍海軍は共に強大なり。

生業 生業中にては、農業最も盛に行はれ、之に次ぐを工業とす。農産中、米、小麥、玉蜀黍は、處々に産し、葡萄、橄欖其他の果物は、中部南部に産し、又牧畜、養蠶は、北部に盛なり。工産中有名なるは、生絲、葡萄酒にして、生絲は伊太利の産物中、第一に位す。鑛業の主なるものを硫黃、大理石、鹽とし中にも大理石は、其の質に於て、世界第一に居り、其他水産には、珊瑚あり。商業は、國の位置、歐亞兩洲間貿易の要路に當るを以て、頗る活潑にして、貿易は主に英吉利、佛蘭西、獨逸、亞米利加合衆國

羅馬



との間に行はれ、主に生絲絹物を輸出し、我國よりは主に生絲を輸入す。交通の便は、他の諸國と大差なし。

都邑 首府羅馬(四六)は、タイバ
 ー河の兩岸に跨がり、古代羅馬
 帝國の都、又羅馬法王の都たり
 しを以て、今尙法王の宮殿あり。
 當時は、歐羅巴の文學、美術、法律
 の淵源たりし處にして、現今も
 歐羅巴美術の中心と稱せらる。
 されば古來の建築、彫刻、繪畫を
 初めとして名所、舊跡甚だ多く、

各國の人來り遊ぶもの跡を絶たず。著名なる建築物をフ

ラム、コロセウム、セント・ペートル寺、ヴチカン宮殿等とす。我が國公使館亦此に在り。此の地の北西なるフロレンス(二〇)にも、壯麗なる建築物多し。エニス、同名の灣頭なる數多の小島上に立ち、市内に溝渠多く、曾て世界第一の貿易港たりし處なり。ミラン(四九)は、絹織業を以て著れ、ポー河に臨める。チュリーン(三三)は、養蠶業盛に行はる。ジェノア(二三)は、同名の灣に臨み、國中



跡遺のイムボ

フロレンス
フロレンス
の西方海
に臨める
には有名
なる斜塔
あり

ミラン

チュリー
ン

ジェノア

第一の貿易港にして、商業頗る活潑なり。ネーブルス(五六)は、此の國第一の大都會にして、同名の灣に臨み、エスギアス火山に對し、氣候溫和、風光明媚を以て著れ、且商業頗る盛に行はる。古へ此の附近にボムヘイ及びヘルキュラニウムの二市ありしが、エスギアス火山大破裂をなし、噴出物を以て全く二市を埋没せり。近世に至り、之を發掘して、凡そ二千年前の市街を遊覽するを得たり。

シシリイ シシリイは、伊太利半島の南西端に接する島にして、島中にエトナ火山あり。サルデニア島と共にマリアアの流行地たり。

サンマリノ サンマリノは、アドリア海沿岸に在る一小共和國にして、面積僅に四方里、人口凡そ一萬なれども、古來獨立を失ひたることなし。

マルタ島 マルタ島はシシリイの南に位し、地中海に於ける重要な位置を占む。地は英領に屬し、其のワレッタ港は、英國地中海艦隊の根據地たり。

第十五節 バルカーン半島

位置 バルカーン半島は、露西亞及び塊地利、匈牙利の南より、地中海に突出したる半島にして、西と東は、アドリア海、多島海、黒海を隔てて、伊太利、小亞細亞に對し、面積十九萬方里、人口凡そ二千萬あり。分れてモンテネーグロ、セルビア、ルーマニア、土耳其、希臘の五國となる。此の半島は歐羅巴列國の權力平均の焦點にして、頗る重要な位置を占む。

地勢 沿岸は屈曲多く、殊に南部に於て、幾多の小半島相連續せり。又南部沿岸より、南東多島海には、島嶼錯雜し、クリト、ユーペア二大島を始めとして、イオニア諸島等あり。東アルプス山脈延いて域内に蔓延し、遂に二群に分れ、一はバルカーン山脈となりて、ドナウ河と平行し、土耳其を横斷す。一は北西より南東に走り、ピンダス山脈となりて、希臘に連な

バルカーン山脈
ピンダス山脈

る、而して其の地形は、ドナウ河沿岸を除きて、餘は概ね高地と丘地とに屬す。ドナウ河は、鐵門以下を下流と稱し、列國共通の航路にして、漕運の便頗る大なり。

氣候 氣候は、北部は大陸性にして、寒暑の差大なれども、南下するに従ひ、漸く溫暖となる。

(一) モンテネーグロ

モンテネーグロは、ヘルツェーゴヴィナの南東に位する一小侯國にして、其の南端僅にアドリア海に臨めり。面積凡そ六千方里、人口凡そ二十三萬、人種はスラヴ族に屬し、性勇敢にして、戰爭を好み、一般に希臘教を奉ず。チッチは其の首府なり。

(二) セルビア

セルビア王國は、ボスニアの東に位し、面積三千二百方里、人口二百三十餘萬、人種は、スラヴ族に屬し、多くは希臘教を奉

ず。政治は、立憲君主政體にして、首府をベルグラードと稱す。産物は豚を主なるものとす。

(三) ルーマニア

ルーマニアは、セルギアの北東に當れる王國にして、面積八千五百方里あり、首府をブカレストと稱す。全國トナウ河の流域に屬するを以て、地形概ね低平なり。地味は、大抵肥沃にして、小麥等の農産物多く、羊の飼養亦盛に行はる。西部の高地には、鑛物の産あり。住民は總數五百九十餘萬人、スラヴ族と、希臘族との混合種にして、一般に希臘教行はる。

(四) 土耳其

位置 土耳其は、黒海、アドリア海等に面し、又マルモラ海、多島海を隔てて、小亞細亞に對し、面積凡そ十六萬餘方里あり。其のマルモラ海は、ボスポラス海峡とダルダネルス海峡と

を以て、黒海と地中海とに通じ、而してダルダネルス海峡は、何れの國の船艦も、土耳其政府の承諾を得ざれば通過するを得ず。

住民 住民は、總數六百萬人種は土耳其、希臘、アルバニアの三族に分れ、風俗、習慣、他の歐羅巴諸國と異なりて、亞細亞風なり。宗教は、回教最も盛に行はれ、希臘教之に次ぎ、教育は觀るに足るものなし。政治は、實際上君主專制にして、皇帝は、亦回教の教主たり。陸軍は兵數に於て、歐羅巴第二に位すれども、實力は之に伴はずして、海軍は微弱なり。

産物 此の國は地味概ね肥沃なるを以て、産物は、小麥等の農産を主とし、特に薔薇油を名産とす。又工業製造品には、絹、毛氈等あり、外國貿易は、殆ど外人の手に在り。主に英吉利、佛蘭西等と取引す。

コンスタンチノール

都邑

首府をコンスタンチノール(一一〇)と云ひてボス



コンスタンチノール

ボラス海峡に臨み、宮殿樓閣林立して、壯觀を極むと雖も、市街不潔に、人民貧窶なり、されば貿易は頗る活潑に行はる。サロニカは多島海の一部なるサロニカ灣頭に位し、首府に次ぎて貿易盛大なり。

クリート クリート島は土耳其領にして地味甚だ肥ゆ。

ブルガリア及び東ルメリア 此二地方は、バルカーン山脈の北と南とに位し、面積七千餘

方里、人口三百七十萬にして、人種はスラヴ族に屬し、主に希臘教を奉ず。共に名義上は、土耳其の屬地なれども、實際上ブルガリアは、獨立して立憲政治を行ひ、其の君主は、又東ルメリアの總督を兼ね、ブルガリアの首府をソフィアと云ひ、東ルメリアの首府をフリッポポリスと云ふ。

(五)希臘

希臘は、土耳其の南に接して、バルカーン半島の南端を占むる王國なり。面積四千餘方里、面積に比して海岸線の長さこと、他に比類なし。域内コリンス地峽に由りて、殆と二分せられ、近時此の地峽に運河を開鑿せり。住民は、總數二百四十萬、古への希臘人の子孫最も多く、性質は、稍輕佻の風あれども、文學を好み、且航海、商業に長ぜり。宗教は、希臘教一般に行はれ、政治は立憲君主政體とす。産物は、乾葡萄を第一とし、其の他烟草、橄欖、無花果、蜂蜜等あり。

雅典

首府雅典は、三千年の舊都府にして、古代文學美術の最も盛なりし地なり。府の中央アクロポリス丘上には、パルテノン宮殿あり。

地理教科書卷三終

明治三十六年二月十日印刷
明治三十六年二月十三日發行

地理教科書

定價
卷二 金四拾五錢
卷三 金四拾五錢
卷四 金四拾五錢

著者 脇水鐵五郎

發行者兼 金港堂書籍株式會社
東京市日本橋區本町三丁目十七番地

右社長

代表者 原亮一郎

東京市下谷區龍泉寺町四百十四番地

印刷所 合資東京國文社

東京市京橋區宗十郎町十五番地

賣捌所 各府縣特約販賣所

不許複製

內國地理小誌 新保磐次氏著

全價 八拾五錢 冊

外國地理小誌 新保磐次氏著

全價 九拾錢 冊

日本中地理 文學士喜田貞吉氏著

全價 五拾五錢 冊
附圖 五拾錢

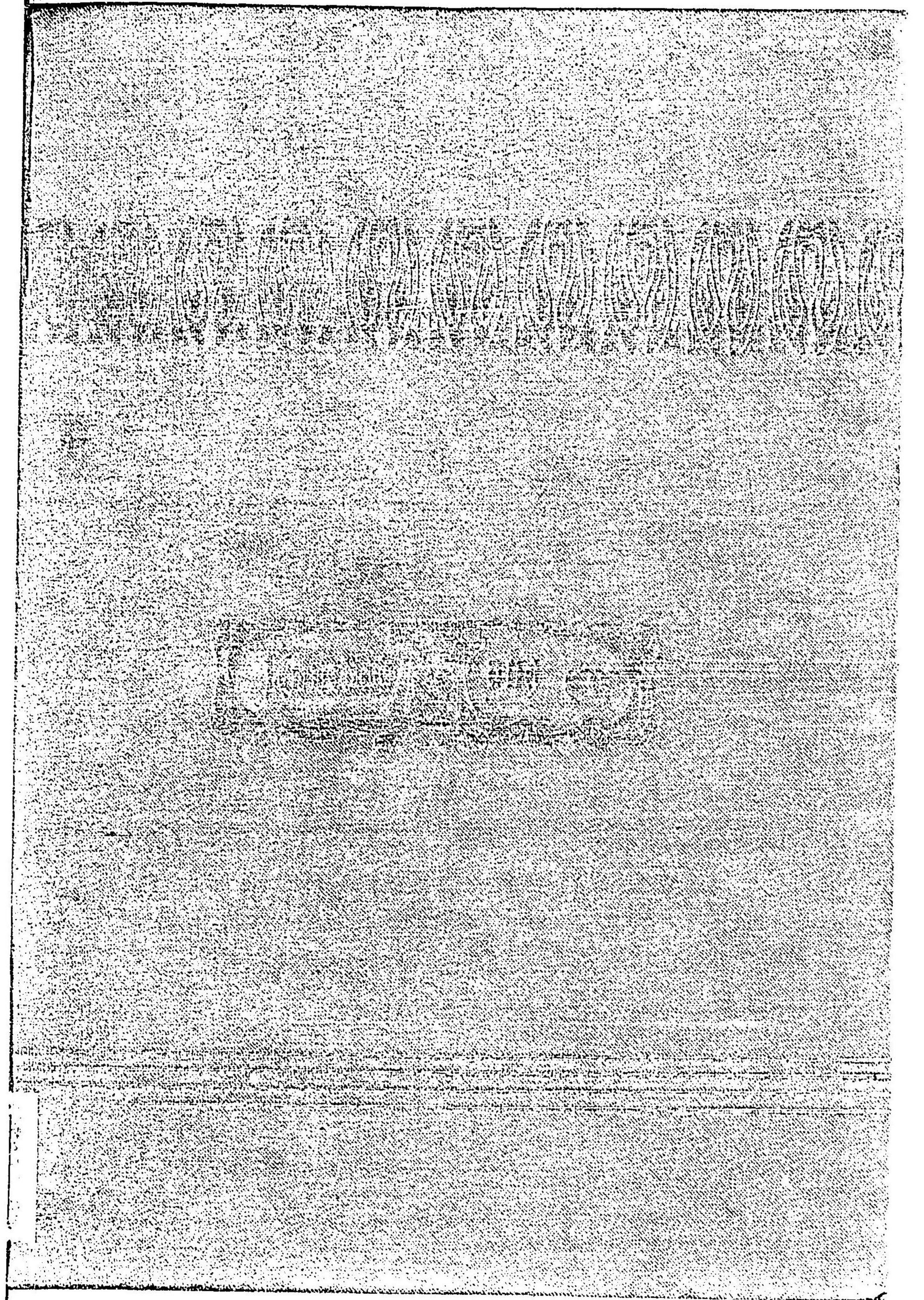
外國中地理 文學士幸田成友氏著

全價 壹圓 冊

地文學教科書 理學士山崎直方氏著

全價 八拾錢 冊

76
15
1877



86

351

